

ITU-R WP 5A
第27回会合報告書
(案)

令和4年6月3日
日本代表団

ITU-R WP 5A 第27回(電子会議) 会合報告書 目次

内容

第27回 Working Party 5A 会合 報告書(案)	0
1 WP 5A	2
1.1 会合の概要	2
2 主要結果	3
2.1 WG 1 (アマチュア及びアマチュア衛星業務)	3
2.2 WG 2 (システムと標準)	3
2.3 WG 3 (PPDR)	4
2.4 WG 4 (干渉と共用)	4
2.5 WG 5 (新技術)	4
2.6 Ad Hoc WG 5A/5C (WRC-23 議題 9.1 c))	4
3 プレナリ会合における主要議論	5
3.1 オープニング・プレナリ会合	5
3.2 クロージング・プレナリ会合	10
4 各WG等における審議内容	22
4.1 WG 1 (アマチュア及びアマチュア衛星業務)	22
4.2 WG 2 (システムと標準)	24
4.3 WG 3 (PPDR)	31
4.4 WG 4 (干渉と共用)	33
4.5 WG 5 (新技術)	43
4.6 Ad Hoc WG 5A/5C (WRC-23 議題 9.1 c))	48
5 今後の予定	49
5.1 WG 1 (アマチュア及びアマチュア衛星業務)	49
5.2 WG 2 (システムと標準)	49
5.3 WG 3 (PPDR)	49
5.4 WG 4 (干渉と共用)	49
5.5 WG 5 (新技術)	50
5.6 Ad Hoc WG 5A/5C (WRC-23 議題 9.1 c))	50
6 次回会合のスケジュール	51

ITU-R SG 5 WP 5A 会合(第 27 回)報告書(案)

1 WP5A

WP5AはIMTを除く陸上移動業務、一部の固定業務（FWA：Fixed Wireless Access）、アマチュア業務、アマチュア衛星業務を扱っている。

1.1 会合の概要

WP5A第27回会合は、2022年5月23日（月）から6月3日（金）までの10日間（土曜・日曜は会議なし）、Web会議にて開催された。54の加盟国、21のROA、19のSI0等から355名が参加した（うち78名が現地での、274名が遠隔からの参加）。

議長はJosé Costa（カナダ）が担当し、表1のとおりWorking Partyのもとに五つのWG（Working Group）と一つのAd Hoc WGを設置し、検討が行われた。

103件の入力文書、前回会合からの25件の持越し文書及び会合中に到達した2件の文書を扱い、会合での検討の結果、49件のTEMP文書を出力した。

表1 WP5Aの審議体制

	担務内容	議長
WP5A		José Costa（カナダ）
WG1	Amateur services	Dale Hughes（オーストラリア）
WG2	Systems and standards	Lang Baozhen（中国）
DG RSTT	Railways	Yan YANG（中国）
WG3	PPDR	Amy Sanders（米国）
WG4	Interference and sharing	Michael Kraemer（ドイツ）
SWG5A-4-1	WRC-23 agenda item 1.3	Cesar GUTIERREZ（Huawei）
DG5A-4-2	WRC-23 agenda item 1.5	Michael Kraemer（ドイツ）
WG5	New technologies	吉野 仁（日本）
DG CAV	CAV	Jeffrey Bellone（米国）
Ad Hoc WG5A/5C	WRC-23 agenda item 9.1 c)	Christine Di Lapi（米国）

2 主要結果

2.1 WG1 (アマチュア及びアマチュア衛星業務)

- (1) WRC-23 議題 9.1 b)について、以下のことを実施した。
 - ・ CPM テキスト案に関する作業を完了した。
 - ・ 作業計画は取り組まれた活動の報告に変換された。
 - ・ WP4C にリエゾンを送付した。
 - ・ ITU-R 新勧告草案 M. [AMATEUR. CHARACTERISTICS]に向けた作業文書の作成を継続した。
 - ・ ITU-R 新勧告草案 M. [AS Guidance]に向けた作業文書の作成を継続した。
- (2) 共用検討について次の作業を実施した。
 - ・ ITU-R 勧告 M. 1732-2「共用検討での使用のためのアマチュア及びアマチュア衛星業務で運用するシステムの特性」改訂草案の作成を継続した。
 - ・ WRC-23 議題 1.12 に関し、WP7C にリエゾンを送付した。

2.2 WG2 (システムと標準)

- (1) RSTT (列車と路線間の鉄道無線通信システム)について、ITU-R 報告 M. 2442-0「RSTT の現在及び将来の使用法」の改訂草案に向けた作業文書の作成、及び ITU-R 新勧告草案 M. [RSTT_FRQ]「RSTT の周波数調和」に向けた作業文書の作成を継続した。また、作業計画の見直しを行った。さらに、各地域組織へのリエゾン及び APT へのリエゾンを送付した。
- (2) RLAN (無線 LAN) 及び BWA 標準について、ITU-R 勧告 M. 1450-5「ブロードバンド無線 LAN の特性」の改訂草案に向けた作業文書の作成、及び ITU-R 勧告 M. 1801-2「6 GHz 以下で運用する移動業務での移動・ノマディックアプリケーションを含む BWA システムの無線インタフェース標準」の改訂草案に向けた作業文書の作成を継続した。また、ITU-R 新報告草案 M. [BB-WAS. FREQ]「BWA の無線インタフェース標準に基づくシステムにより使用される周波数」に向けた作業文書の作成を開始した。
- (3) Utilities (公共無線通信システム)について、ITU-R 新報告草案 M. [UTILITIES]「公共無線通信システム」に向けた作業文書の作成を継続した。また、進捗に関し WP5D に返信リエゾンを送付した。
- (4) 陸上移動業務における PMSE 音響アプリケーションの地域及び世界的な使用法に関する状況及び動向について、ITU-R 新報告草案 M. [AUDIO-PMSE_LMS]に向けた作業文書の作成が開始された。また WP5C にリエゾンを送付した。
- (5) 航空機との公衆移動通信用のシステムについて、作業文書の PDNR への格上げを提案する寄与文書があったが、合意が得られなかった。ITU-R 報告 M. 2282-0「航空機との公衆移動通信のシステム」の改訂草案に向けた作業文書を持ち越すこととした。
- (5) 陸上移動システムの保護について、ITU-R 勧告 M. 2134「共用及び両立性検討で用いる 27.5-29.5 GHz 範囲における移動業務のシステムのための受信機特性及び保護基準」の改訂の提案に関し、寄与文書が入力されず、作業文書が持ち越された。

2.3 WG3 (PPDR)

- (1) ITU-R 報告 M. 2377-1 及び ITU-R 決議第 55-3 について、作業を継続した。

2.4 WG4 (干渉と共用)

- (1) WRC-23 議題 1.3 について、以下のことを実施した。
 - ・ CPM テキスト案の作成を完了した。
 - ・ 決議第 246 (WRC-19) にしたがって共用及び両立性検討のための ITU-R 報告案に向けた作業文書の作成を継続した。
- (2) ITU-R 新報告草案 M. [252-296 GHz, LMS, FS, COEXIST] に向けた作業文書について、更新し、新報告草案に格上げした。
- (3) WP7C からの 6425-7250 MHz 帯 EESS (受動) と WAS/RLAN の共用検討のための WAS/RLAN の技術条件の照会について、作業中である旨を記載した WP7C への返信リエゾンを作成・合意し、技術条件については次回会合で継続議論となった。
- (4) WRC-23 議題 1.12、1.13、1.14、1.15、1.16、1.17 及び 1.19 について、WP4A、WP7B 及び WP7C への返信リエゾンを作成した。

2.5 WG5 (新技術)

- (1) ITU-R 報告 M. 2417 「275-450 GHz 帯における陸上移動業務のアプリケーションの技術・運用特性」の改訂案の作成を完了した。
- (2) ITU-R 新報告草案 M. [CAV] 「コネクテッド自動運転車」に向けた作業文書の作成を継続した。同報告草案の完成目標を 2023 年 5 月の WP5A 会合に延ばした。

2.6 Ad Hoc WG5A/5C (WRC-23 議題 9.1 c)

- (1) 本トピックの CPM テキスト案について、WP5A 第 26 回会合で提出された 1 件を含む、4 件の寄与文書の提案を検討し、WP5A 及び WP5C の合同プレナリのセッションに提出された CPM テキスト案は、CPM-23 第 5 章のラポータに送付されることが承認された。
- (2) 既存の F シリーズ勧告の改訂を提案する入力寄与文書は、時間の都合から、まだ検討されていない前回からの入力文書とともに、次回第 28 回会合に持ち越された。

3 プレナリ会合における主要議論

3.1 オープニング・プレナリ会合

【入力文書】

Report of the twenty-sixth meeting of WP5A	5A/491
Objectives for the twenty-seventh meeting of Working Party 5A	Section 4 of Doc. 5A/491
Structure of WP5A and list of contacts	Sections 2.2 and 4 in Annex 1 to Doc. 5A/491
Revision of WP5A texts	Section 1 of Annex 1 to Doc. 5A/491, Doc. 5A/541 (Canada)
Consideration of input documents	Doc. 5A/499 (URSI), 5A/507R1 (Iran)
Reports from the Liaison Rapporteurs	Docs. 5A/585 (Disaster Relief L.R.); 587 (L.R. #2)

【出力文書】

—	—
---	---

【出席者】

José COSTA 議長 (カナダ)

【審議概要】

1 開会挨拶 (5A/INFO/4)

- ・ 議長のホセ氏から、自己紹介。エリクソン・カナダで、カナダ代表団の一員。会議が遅れて申し訳ない。昨日フライトが遅れ、乗り換えできず、今朝 8:30 に空港に到着した。また、IT システムによって会合が遅延した。失った 15 分を取り戻すためにスピードアップする、との挨拶・説明があった。
- ・ SG5 カウンセラーのウヴェ氏から、システムが機能していない、我々が使用することとなる Zoom がもう少し早くすると利用できるようになる。特に議長に全ての参加者の挙手が見えるようになるため、Zoom システムが利用可能になったら、Zoom を使って挙手することを求める。(会場の)マイクと音響システムは、Zoom システムと統合されている。Zoom の代わりに、会場のマイクと音響システムを使う。しかし、挙手は Zoom を使って行うこと。二週間の会議で、二つ会場がある。一週目はここ ITU の建物で、二週目は CICG の建物 (ITU の隣)で行う。INFO/4 文書を参照。二週間の会合期間に、一日五セッション、昼食一時間である。十分な会議室がある。オフラインでの電子メールでの議論の活動は、シェアポイントに情報がある。全てのコンビーナは SG5 カウンセラーに連絡すること。等が案内された。
- ・ イランから、Zoom プラットフォームが (現在) 使えない。(そのため) 会場で挙手する。これはよい進め方ではなく、完全に受け入れ不可。議長がここにいないのであれば、副議長が会合を開くべきである。これは仮想会

合ではなく、遠隔からも参加可能な物理会合である。接続できないのであれば、接続を待つ必要はない。会合は、9:30 ちょうどに議長の不在のまま副議長によって開始しなければならない。議長が来ないのは受け入れ不可。副議長は 9:30 に開催しなければならない。これは今後、起こってはいけない。ことが指摘された。

- ・議長から、次回はよくするようにすること。遠隔からの参加者は接続でき、この会場の参加者が接続に問題があること、等の説明があった。
- ・以上で、開会の挨拶は終了した。

2 議題の採択

- ・特に質疑なく、採択された。

3 第 26 回会合の報告 (5A/491)

- ・議長から、これまでにコメントを受け取っていない。この議長報告は採択された、との説明があった。

4 第 27 回会合の目的 (5A/491 第 4 節)

- ・議長から、今会合の主な目的は、WP5A が責任グループである議題の CPM テキスト案の作成を完了させることであることを強調したい、締切は今会合である、との説明があった。

5 WP5A の構成及び連絡先一覧 (5A/491 Annex 1 第 2.2 節及び第 4 節)

- ・議長から、前回会合の WG の構成が上手く機能し、これを継続する。六つの WG、そのうちの一つは WP5C との合同の Ad Hoc WG である、との説明があった。
- ・連絡先一覧の議長報告の Annex 1 については、見てもらい、更新があればクロージング・プレナリで更新する、との案内があった。

6 ITU 及び WP5A に関連する外部活動の報告

- ・議長から、以下の会合に関し、説明があった。
- ・ 6.1 SG5 会合の結果について、文書を開く必要はない、昨年 12 月に開催された。WP5A に関する文書を見ること。陸上移動業務のガイドは更新された。
- ・ 6.2 CCT 電話会議の議事録について、2 月に開催された。ボキャブラリーに関する文書は有用かもしれない。特にハイライトすることはない。
- ・ 6.3 RAG 会合の結果について、4 月に開催された。回章はノートされる。同じくハイライトすることはない。
- ・ 6.4 CPM23-2 への準備について、CPM マネージメント・チームでの議論の結果、締切は 10 月 21 日となった。今回が最後の会合である。

7 WP5A 文書の改訂 (5A/491 Annex 1 の第 1 節)

- ・議長から、WP5A が責任のある文書の一覧である。この会合にカナダから寄与文書がある。カナダに簡潔に 5A/541 の説明を求める、との説明があった。
- ・カナダから、入力文書 5A/541 の紹介。いくつかの文書は 20 年以上前の古い文書であり、削除又は更新できるかを検討するよい機会。WG で分離して検討できるように、この文書で作業をより楽にできるように提案している。
- ・議長から、この会合で、見直しで、削除や更新を行い、記録し、次回 11 月の会合で削除するか最終決定を行い、SG5 に提出する。
- ・ATDI から、一般的な質問。この文書で WP5C と WP5D に言及されているが、どのように ITU-R 勧告や報告に関し調整するのか。また、SG1 と同様のことを行うのは有益である。改訂される研究課題がある。どのように他の WP と調整するのか。WG に研究課題も見るように依頼してほしい。カナダに WP5A と他の WP との調整を行ってほしい、との質問があった。
- ・議長から、他の WP と調整するのは通常の業務。正式にはリエゾンで行う。ケースバイケースである。カナダは（調整を引き受けることを）拒否しないと思うが、実際の作業は、WG 議長が見ることとなる、との回答があった。
- ・イランから、これは緊急ではない、急がない。この文書を次回会合に持ち越すことを提案する。今会合では CPM テキストのみである。この会合で議論することは完全に反対である、との意見があった。
- ・ATDI から、RAG、CVC では、CPM と勧告や報告の改訂とのバランスについて話した。CPM がより緊急であることには合意するが、会合は二週間あり、オフラインがあり、おそらく行える。
- ・イランから、前の発言者の意味での RAG での決定に合意しない。それは一般的な事項に関してである。発言者（ATDI）の誤解。RAG では、勧告の削除や維持は議論されていない。RAG では、CPM に関するもののみ議論された。非公式にでもこの件を今会合で議論することに反対であり、延期する、との意見があった。
- ・議長から返答があり、それに対してイランから、緊急でないものを会合での議論に反対、キャリアフォワードはキャリアフォワード。全て 11 月会合から開始する、との補足があった。
- ・議長から、言い間違えたかもしれないが、この文書をキャリアフォワードする。しかし、文書に意見がある者がいれば、記録するため、受け付ける、との回答があった。

8 会合の作業計画 (5A/ADM/70、71)

- ・議長から、最も重要な議題。ADM/70 は入力文書の割り付け。誰からも意見を受け取っていない、との説明があった。
- ・イランから、プレナリで議論される寄与文書を全ての WP に提出した。11 時からの WP5C のプレナリで紹介してもらえよう WP5C 議長に求めた。なぜプレナリにないのか理解できない。全ての議題に関するもの。WP5C と WP5B が残っている。これは一般的な問題で、どのように二次業務が扱われ

るかについてである、との意見があった。

- ・議長から、イランからの文書 5A/507 は、WRC-23 議題 1.3 に入れている。当該議題に関するものであるため。もしこのプレナリで紹介したければ、紹介できる。議事次第の議事 10 で紹介できる機会がある。同意できるか、との回答があった。
- ・イランから、これは一般的な問題。全ての議題に係るもの。RR で考慮され、プレナリで議論される二次業務である。RR で一次業務と二次業務がある。議長が指定する時間に当該文書を紹介する。これを含めるように議事次第を修正する。11 時から他の会合で同じ文書を紹介し、WP5C 議長と議論する、との発言があった。
- ・議長から、このプレナリで紹介する、との回答があった。
- ・ATDI から、遠隔参加ができるようになったとの情報があった。
- ・議長から、よい情報との回答があった。
- ・議長から、ADM/71 について、スケジュールであり、文書を用意するのに WP5C と調整する等の説明があった。
- ・イランから、会合の時間について、遠隔からも参加可能な物理会合は、他の WP と方法が異なり、昼食が一時間しかなく、17 時に終わる。いくつかの第三地域の国は 17 時以降は苦痛である。本 WP は、前の同様な WP 会合がとったのと同様な方法に従えるのかどうか知りたい。五つのスロットをとることができるかの、質問があった。
- ・議長から、INFO 文書に記載されており、毎日 9 時に開始し、17 時に終了する、昼食は 60 分である、休憩は 15 分であり尊重する、との回答があった。
- ・以上で議事 8 は終了した。

9 作業方法 (シェアフォルダ、オフラインでの電子メールによる議論)

- ・議長から、新しいことはない、コンビーナは開始時刻と終了時刻を電子メールでウヴェ氏に連絡すること、との説明があった。
- ・米国 (エイミー氏) から、オフラインの参加者が議論に参加するための十分な時間を許容するよう、求められた。
- ・議長から、開始時刻に留意する必要がある、との回答があった。

10 入力文書の検討 (5A/499 (URSI)、5A/507 (イラン))

- ・議長から、URSI 関係者に文書 5A/499 の紹介を求められたが、現地及び遠隔とも不在のため、参加者に読むよう求められ、ノートされた。
- ・議長から、イランに二次分配に関する文書 5A/507 R1 の紹介を求めた。
- ・イランから、文書 5A/507 R1 の紹介があった。一般的な事項。一般的な問題。この文書は一次業務と二次業務の定義を変更しようとするものではない。RR では二つの分類がある。二次業務の主管庁は、前の WRC の決定に基づき、希望により一次業務に格上げして運用を開始した。将来のことについて話している。脚注の例がある。二つの取りうる方法がある。(詳細略；

文書 5A/507 R1 を参照) 等の説明があった。

- ・議長から、特に議題 1.3 においてノートするとの回答があった。

11 管理事項 (5A/491 Annex 1)

- ・議長から、11.1~11.4 に係り、単に管理事項に関する情報であり、議論する必要はない、説明があった。
- ・イランから、いくつかの WP は次のように誤解している。背景が長い。背景に見解がある。背景は背景であり、見解 1、見解 2 は不要。背景はまとめ。トピック 9.1 a)、b)、c) について、三つのみのセクションがあり、まとめと、背景と ITU-R 検討の結果の三つ。メソッドと規則条項はない。何人かは誤解している。これらのトピックに、「規則的な措置」という言葉を使っているものがある。背景には、プロモーションな文章、コスト・イフェクティブ、ロー・コスト、フル・コネクションなどは CPM テキストには不要。WRC 決議にはプリアンブルがある。… (中略) …、との指摘があった。

11.1 CPM レポート案の構成 (第 3 節)

11.2 ITU-R 勧告の様式 (第 2.3 節)

11.3 ITU 英語スタイルガイド (第 2.3 節)

11.4 用語 (第 2.1 節)

12 リエゾンラポータからの報告 (5A/585 (災害救援)、587 (#1))

- ・議長から、リエゾンラポータからの報告で、二つがある。残り 4 分である。1 分で説明してほしい、との説明があった。
- ・PPDR に関して、エイミー氏 (米国) から、文書 5A/585 を基に紹介があった。
- ・議長から、質問等があれば、エイミー氏に電子メールを送るように説明があった。
- ・議長から、次の文書について、第一地域 (#1) ではなく第二地域 (#2) であることの訂正があった。
- ・第二地域のラポータのジョン氏 (米国) から、文書 5A/587 を基に、三つのことを説明。ITU で 4 月 22 日の世界アマチュア・デイのセレモニーを実施。次に、4 月に CITEL の会合を二回行った。PCC I と PCC II。PCC II は鉄道通信について関心がある。関心があればホセ・ダリオ氏に電子メールを送るよう、と報告された。
- ・議長から、質問等があれば、ジョン氏とホセ氏に電子メールを送るように説明があった。

13 WP5A 及び SG5 の将来の会合のスケジュール

- ・議長から案内。

WP5A : 2022年11月14日(月)～25日(水)
SG5 : 2022年11月28日(月)～29日(火)

14 その他

- ・特になし。

15 閉会

- ・議長から、プレナリへの寄与に感謝との説明があり、定刻に終了した。

3.2 クロージング・プレナリ会合

【入力文書】

WG1 Amateur services	—
WG2 Systems and standards	—
WG3 PPDR	—
WG4 Interference & sharing	—
WG5 New technologies	—
Ad Hoc WG5A/5C	—
Reports from the Liaison Rapporteurs	5A/594 (L.R. #1), Doc. 5A/595 (L.R. #3)

【出力文書】

WG1 Amateur services	5A/TEMP/198 R1, 217, 218, 219 R1, 220, 232
WG2 Systems and standards	5A/TEMP/209 R1, 210 R1
WG3 PPDR	—
WG4 Interference & sharing	5A/TEMP/199, 200 R1, 223, 241, 202 R1, 211 R1, 212 R1, 216, 226 R1, 227 R1, 228 R1, 229 R1, 242
WG5 New technologies	5A/TEMP/194, 172 R1 (Att.), 164, 168 R1, 171 R1, 221 R1
Ad Hoc WG5A/5C	5A/TEMP/190, 191
WP5A Management	5A/TEMP/189
List of Annexes for the Chairman's Report	5A/TEMP/188

【出席者】

議長： José COSTA (カナダ)

【審議概要】

6月2日(木)

1 開会挨拶

- ・議長から、WP5Aのクロージング・プレナリによるこその挨拶があった。

2 議題の承認

- ・最初に、この会合の議事は ADM/103。WG1の文書に訂正がある。TEMP/217

R1、218 R1、220 R1。TEMP/232 の追加。WG1 は明日継続することを考慮して、R1 を追記。議事を承認できるか、との説明・質問があり、特に質疑なく、承認された。

3 WG からの報告及び出力文書の検討 (5A/TEMP/…)

- ・議長から、WG1 の検討を行い、もし時間があれば WG2 を始める。WG1 議長に簡潔に報告を求める。

・文書 TEMP/231 報告 (WP5A 議長報告の Annex 3)

- ・WG1 議長から、WG1 は 14 回開催し、15 件の文書を調査して、作業を完了した。スクリーン上の報告は、全ての文書がどのように扱われたかが記載されている、参加者の寄与と支援に感謝、との報告があった。
- ・議長から、承認のための文書、CPM テキスト案に直接行くことを提案。簡潔に紹介してもらいたい。その後、一回（一瞥）で承認できるかどうか確認する、との説明があった。

・文書 TEMP/198 CPM テキスト案

- ・WG1 議長から、検討のサマリーの結果は当該帯域における二つの業務間で共用する周波数帯に関する背景の材料（図）を提供している。RNSS とアマチュア・アマチュア衛星業務との共用の図は、どのように当該帯域でそれらが重複するかを示している。WP4C で取り組まれた検討では、多くの受信機の測定キャンペーンが記載されている。結果のサマリーでは、作業の出力は、二件の報告と、一件の勧告、返信リエゾン。報告は、決議の resolves 1 を扱い、ガイダンスの勧告は、resolves 2 を扱う。承認のため提出する。
- ・議長から、一回（一瞥）で承認する。チャプター・ラポータへの提出の承認に反対があるか、との発言があった。
- ・イランから、紹介の一部を見過ごした。この CPM テキストには、背景とエグゼクティブ・サマリーがあるのか。セクション 1、2、3 と、議題 9.1 の CPM は構成される。背景とエグゼクティブ・サマリーと ITU-R の検討の結果が必要である。これは議題 9.1 b) も同じ。もしそれがないのであれば、始めたくない。
- ・WP5A 議長から、私の理解では、議題 9.1 で提供する必要があるものは結果のサマリーが全てである。エグゼクティブ・サマリーは必要ないと思う、との回答があった。
- ・CPM23 議長から、この文書で表現された方法は正しい。議題 9.1 のトピックについては、単純に検討の結果のサマリーを記載することとなっている。付け加えられるそのほかのセクションはない、との回答があった。
- ・米国から、このテキストの最後の段落は、「These guidelines are intended to assist administrations …」とあり、「もし RA-23 までに勧告の採択・承認が最終化されなければ、これらのガイダンスは WRC 決議に含まれるかもしれない」(These guidelines may be included in a WRC Resolution

if the adoption and approval of the above mentioned Recommendation is not finalized before RA-23.) とある。これについて、何を意味するのか。RA 又は WRC にアクションを提案しているのか。この文章が何を言っているのか誰か説明してほしい。我々は議題 9.1 のトピックを扱っている、との質問があった。

- ・ WG1 議長から、ある主管庁から CPM テキスト案に WRC 決議を含めるよう提案があったが、WRC-23 議題 9.1 では WRC 決議を含む規則関係を CPM レポートで扱わないため、そのように記載されている。関係主管庁は、WRC-23 までに本ガイダンスの ITU-R 勧告を作成することを保証したいが、もしできなければ、WRC でこの件に対処するため決議を提案する選択肢をもっている。そのため、妥協した解決策が採択されたもの、との解説があった。
- ・ イランから、CPM 議長に完全に不同意である。我々は調和されたアプローチをとるべきである。 이슈ーやトピックは、エグゼクティブ・サマリー、背景、ITU-R 検討の結果の三つの部分からなる。ITU-R 決議について言っているのであれば別の問題であるが、WRC 決議であれば、決議として WRC に何も提出できない。全ての SG に関係するが、この問題は SG5 のみ。採択に反対する。CPM 議長に二つ異議がある。セクション 1 にエグゼクティブ・サマリー、セクション 2 に背景、セクション 3 に ITU-R の検討の結果。等の意見があった。
- ・ 議長から、書式に関して二つ意見がある。この文書は 11 月上旬のマネージメント・チームのチャプター・ラポータ会合に行くとき記憶している。会合で変更があれば、CPM に最終レポート案が提出される。それが一点目。二点目は、これらを編集する時間はない、との発言があった。
- ・ 米国から、議題 9.1 c) で非常に長い議論を行った。最後の文章の WRC 決議への参照は適切でないと思う。削除する又は修正する。議題 9.1 トピックは、WRC のアクションはない、との意見があった。
- ・ ドイツから、「These guidelines may be decided on by the WRC-23 based on input contributions」とし、「included in a WRC Resolution」を削除する、文言の修正の提案があった。
- ・ CPM 議長から、構成を明確化したい。CPM23-1 会合で、WRC-23 への CPM レポートの章で、議題の構成に議論があった。CPM23-1 会合でレビューされ、承認された。それは CPM23-1 の出力として CA/251 の Annex 6 に含まれている。特に Annex のセクション 2.2 に、WRC 議題 9.1 のトピックの場合の構成を提供している。単純に、議題のトピック又は名称、ITU-R 検討の結果のサマリーである。CPM23 ウェブサイトにリンクがある CPM レポート案の詳細構成案に反映されている。等の説明があった
- ・ WG1 議長（オーストラリア）から、最も簡単な解決策はその文章を削除することである、等の発言があった。
- ・ 米国から、議長に同意する。CPM のマネージメント・チームに提出し（これの判断を委ね）、必要な情報が提供されるよう彼らを信頼する。そのほかの背景については、時間がない。等の発言があった。
- ・ 議長から、最後の文章を削除し、CPM チャプター・ラポータへ提出することの提案があり、削除されて合意された。

・ 5A/220 (SG5 で承認される文書；ITU-R 勧告 M.1732-2「共用検討で使用するのためのアマチュア・アマチュア衛星業務で運用するシステムの特
性」の改訂案)

- ・ WG1 議長から、5A/220 に基づき、説明が行われた。
- ・ イランから、変更のサマリーに行って、I/N 比は提案される。どの表のことか、明確にしてほしい、との質問があった。
- ・ 議長から、説明が行われた。
- ・ イランから、本件を審議する準備ができていないとコメントがあった。
- ・ 議長から、SG5 会合は 11 月。この文書は 11 月会合で議論できる、との回答があった。
- ・ ドイツから、もう一回 WP5A で議論し、11 月の SG5 へ提出することを受け入れるとの発言があった。
- ・ 上記で、合意された。

・ TEMP/219 議題 9.1 b)の進捗に関する WP4C へのリエゾン

- ・ WG1 議長から、TEMP/219 を基に、説明が行われた。
- ・ 議長から、承認することに反対あるかとの質問があった。
- ・ イランから、段落ごとに見たいとの発言があった。
- ・ イランから、表現の明確化について指摘があり、議論されたが時間切れとなった。
- ・ 議長から、参加者は明日のプレナリの前にレビューして、メールするようにとの連絡があった。

6 月 3 日 (金)

1 開会挨拶

- ・ 議長から、議事は ADM/103 R1。昨日既に検討した文書も含まれている。それらを再度見る。昨日の続きを行う。WG1 のリエゾンである、との案内があった。

2 議題の承認

- ・ 議長から、ちょうど 1~2 時間前に会合が終わった WG4 からいくつかの文書に改訂があることに留意、との発言があった。
- ・ 特に質疑なく、承認された。

3 WG からの報告及び出力文書の検討 (5A/TEMP/…)

- ・ 議長から、WG1 から開始する、WG1 議長はオーストラリアへのフライト上であり、本日ここにいない。米国 (シブリング氏) に残りの二つのリエゾン

文書 TEMP/219 R1 と TEMP/232 の紹介を求める、との案内があった。

【WG1 アマチュア業務】

・ 文書 TEMP/219 R1 議題 9.1 b) の進捗に関する WP4C への返信リエゾン

- ・ 米国 (WG1 議長代理) から、最も易しい TEMP/219 から始める。作業の進捗に関する WP4C へのリエゾン案である。昨日扱い、意見があった。会議後、議長と関係者とで会って編集を行った。主管庁へのガイダンス (指針) を提供することについての文章に懸念があった。ITU-R 報告 M. [AMATEUR-RNSS] のセクションに他のセクションと矛盾しないような、いくつか新しい文章がある。また微小な編集がある。ほとんど同じ、との説明があった。
- ・ イランから、昨日議長のグループが私のところに来て、私に何か見せたと思う。この文書かほかの文書か分からない。覚えていない、との質問があった。
- ・ 米国から、我々は会議後イランと会わず、イランは昨晚、私に電子メールを送って来た。昨日文章について議論し、これは更なる議論のために変更を反映していると言っていた、との回答があった。
- ・ 議長から、承認できるかとの質問があった。
- ・ イランから、1分時間がほしい。p. 2 の段落で、「WP5A seeks clarification in order to assist further development」とあり、「assist」が何か分からない。更なる作成を行うため WP5A をアシストするのか、誰が誰をアシストするのか。「assist」の代わりに「proceed」とする。「in order to proceed further development」などと変更する、との意見があった。
- ・ そのほか意見なく、承認された。

・ 文書 TEMP/232 議題 1.12 に係る WP7C 等へのリエゾン

- ・ 米国 (WG1 議長代理) から、次の文書は TEMP/232 である。議題 1.12 に関する WP7C へのリエゾンである。文書の最後に微小な変更を行っている、との紹介があった。
- ・ イランから、「will only operate in a window of a few hours centred approximately at 4 AM」とあり、我々は決定的なことは言わない。「will operate」を「intended」や「planned」などとする。「is expected to operate」と変更する。また、「but there is no actual time zone specified」とあるが、これは何を意味するか、との意見があった。
- ・ 米国から、(タイムゾーンについて) これは、WP7C で異なる時刻がいくつかあることが議論されたためである。私は WP7C には参加していない。代表団が異なる時刻を言及していた。このリエゾンはタイムゾーンの明確化を求めている。UTC など。私の記憶が正しければ、フランスの代表団が WP7C に参加し、変更を行った。フランス代表団に明確化を求めたい、との回答があった。
- ・ 議長から、タイムゾーンが分からないことは明確で、WP7C に明確化を求め

たい、との発言があった。

- ・ イランから、重複・繰り返しがある。最後の部分「A specific time zone should be specified in the report.」は（これで）十分であり、「but there is no actual time zone specified」は不要、との意見があった。
- ・ 議長から、他の意見を求められた。（承認後、次の文書に移った後、）
- ・ イランから、リエゾンの最後に戻って、「WP5A would suggest that the methods and appropriate regulatory considerations be clarified and made more explicit to ensure the protection of the mobile service.」は、メソッドから何を欲しいのか。メソッドはメソッド。WPは複数のメソッドを持っている。何の明確化を求めたいのか。明確化が必要。どの分野を明確化したいのか、との質問があった。
- ・ 米国（シブリング氏）から、我々のグループで議論した際には、よりよく理解するためにより詳細な情報を求めているという印象であった、との回答があった。
- ・ 米国（イバラ氏）から、この文章はよく書けていると思う。「made more explicit」と言う替わりに、「make more explicit」が何を意味する分からないため、単純にそう言うのを削除する。「the methods and appropriate regulatory considerations be clarified to explain how the protection of the mobile service is ensured.」との意見があった。
- ・ イランから、米国のイバラ氏は私の指摘をカバーしたが、「WP5A would suggest that the methods and appropriate regulatory considerations be clarified and made more explicit to ensure the protection of the mobile service.」を削除し、「Any method to satisfy the agenda item, shall ensure the protection of the mobile」に変更する、との意見があった。
- ・ フランスから、この部分は WG5A-4 で議論された。5A-4 議長がこの文章をドラフトした。今の段階でシャッフルするのはトリッキーである。私は米国のイバラ氏の提案に同意できる。これでは何も言っていない。私の提案は米国のイバラ氏又はエイミー氏の提案を受け入れることである。そうすれば、これは次回 WP7C がこれを議論する問題である、との意見があった。
- ・ 議長から、イランの前に、WG4 から WG1 に文書 TEMP/202 R1 が入力されている。
- ・ イランから、このグループ（WG1）の問題かどうか分からない、との意見があった。
- ・ 議長から、明確化する。WG4 は WG1 に文章を提供した。WG1 は一つのリエゾンがある。この文章のこの部分は WG4 で議論され、作成され、WG1 に提供され統合された、との説明があった。
- ・ イランから、「explain」を削除し、「methods and appropriate regulatory considerations be clarified in order to ensure the protection of the mobile service.」とする、との意見があった。
- ・ 議長から、これでよいか。そのほかに意見・反対があるか問われ、特になく、リエゾンが承認された。

- ・議長から、WG1の文書は完了した。TEMP/231はWG1の報告であり、各々読める。議長報告に添付される文書はここに示されている。昨日合意できなかった勧告の改訂は、11月会合に向けて作業が継続される。これでWG1を終了する。WG2に移る。30秒、1分未満で簡潔に報告を求める、との発言があった。

【WG2 システム及び標準】

- ・WG2議長（中国）から、9回開催し、34の文書を受領した。四つのDGとオフラインの電子メールグループを設置。全てのタスクを完了。検討される出力文書が四つある、との報告があった。

・TEMP/204 R1 ITU-R 決議 59-2（新報告 M. [AUDIO PMSE USAGE]）に関する WP5C への返信リエゾン

- ・WG2議長から、説明があった。
- ・イランから、「in a possible new report」の「possible」の削除の提案があった。
- ・フランスから、いくつか修正する提案が二つある。リエゾンの完成の後に、新しい報告の作成を開始した。そのため最初の文書はもはや正確ではない。第二段落の最初で、「Based on an initial review」を「Based on the review」に変更。「Also WP5A initiated the development of a draft Working Documents toward the PDNR ITU-R M. [AUDIO-PMSE_LMS]」（WP5Aは報告の作業文書の作成を開始した。）を追加。また、「The relevant portions for WP5A will be discussed and considered for inclusion in a possible new report related to applications …」を削除する。また、議長報告への参照「(see Annex 19 to 5A/XXX)」を付ける、との意見があった。
- ・イランから、「… regarding the application of …」とする、との意見があった。
- ・米国から、二人挙手があったが下ろした、との指摘があった。
- ・ドイツから、議長報告への添付文書 Annex 19は、ベースライン文書。WP5Cに伝えるメリットはないと思う。必要ない、との意見があった。
- ・議長から、ドイツは「The relevant portions for WP5A …」の文章を削除することを提案しているか、との確認があった。
- ・米国から、ここで（文章が）少し混乱している。「The relevant portions for WP5A will be discussed and considered for inclusion in a possible of」の行を削除するのは適切でない。その文章を維持する必要がある。「Also, WP5A initiated the development of a draft Working Documents toward the PDNR ITU-R M. [AUDIO-PMSE_LMS]」の文章をふくめないことを提案する、との意見があった。

- ・元の文章から、「possible」の削除、「related to」の「regarding the」への変更をもって、承認された。

・ TEMP/209 R1 RSTT により使用される周波数の地域的調和に関する更新情報を求める APT、ASMG、ATU、CEPT、ITEL 及び RCG へのリエゾン

- ・WG2 議長から、APT 等へのリエゾン案である。等の説明があった。
- ・イランから、調和できるのか。APT は不可能。APT は 39 の国は異なる経済圏で、調和が何か理解できない。何の答えがあるのか。なぜ返答する必要があるのか。本当に必要か。我々は ITU のメンバーである。もしそれが APT に来たら、何ができるのか。調和の可能性がない。何ができるのか、との指摘があった。
- ・米国から、新報告草案 M. [RSTT_FRQ] について、5A-2 グループで議論した。私の理解では、少なくとも第二地域の CITES には情報がない。そのため、CITES に知らせるのは有益であると思う、との意見があった。
- ・この後、議長とイランから発言があり、リエゾンを送ることが承認された。

・ 文書 TEMP/210 R1 ITU-R 新報告草案 M. [RSTT FRQ] の AWG へのリエゾン

- ・WG2 議長から、AWG への返答リエゾンとの説明があった。
- ・イランから、APT には、APG と AWG がある。AWG に送付することを支持しない。APG で十分。AWG に送付することに反対、との意見があった。
- ・議長から、APT に送ることはどうかとの提案があった。
- ・イランから、中国は APG の副議長であり、強い力を持っている、との意見があった。
- ・この後、ドイツ等から意見があり、最終的には APT に送付することで承認された。

・ TEMP/233 R1 ITU-R 新報告草案 M. [UTILITIES] に関する WP5D へのリエゾン

- ・WG2 議長から、WP5D への返信リエゾン。進捗があった。Annex 4 の削除を提案。この素材は今や WP5D の素材・所管であるため、との説明があった。
- ・イランから、「working documents toward」の「towards」との意見があり、米国、イラン、から発言があり、WG4 議長から、「As suggested by WP5D, WP5A has deleted」に修正することが提案され、リエゾンを変更し、送付することが承認された。
- ・WG2 議長から、これで WG2 は最後である。全ての DG 議長に感謝するとの辞があった。
- ・議長から、WG3 に行くとの説明があった。

【WG3 PPDR】

- ・ WG3 議長から、2 回開催した。TEMP/213 に報告がある、との報告があった。
- ・ 特に質疑等なかった。

【WG4 干渉と共用】

- ・ WG4 議長から、WG4 の報告はちょうどポストした。TEMPM/244。非常に忙しかった。議題 1.3 で、CPM テキスト案を完成。共用検討も。テラヘルツ帯の LMS の特性に係る報告を格上げした。等の報告があった。
- ・ イランから、CPM テキストについて、意見があった。

・ TEMP/211 R1 議題 1.13 に係る WP への WP7B へのリエゾン。

- ・ イランから、「… should not impose constraints on existing systems of primary services …」の「existing system」の意味が分からない。「future system」か。明確化してほしい、との意見があった。
- ・ WG4 議長から、「existing systems of」を削除し、「primary services」に変更する、との提案があった。
- ・ イランから、「constrains」について、「due constraint」や「undue constrain」など使わない。等の意見があり、その後、WG4 議長、イラン、ドイツから発言があり、また米国から、この言葉は決議の引用である旨の発言があり、承認された。
- ・ その後、イランから、リエゾンについて、議長報告に入れるように、との意見があった。

TEMP/212 R1RR 第 5.458 条の下での 6425-7250MHz 帯の EESS（受動）との共用に関する WP7C への返信リエゾン

- ・ WG4 議長から、説明があった。
- ・ 議長から、(コンタクトパーソンに) ボランティアが必要との求めがあった。
- ・ 米国から発言があり、その後承認された。

・ TEMP/216 R1 WRC-23 議題 1.14 の活動に係る WP7C への返信リエゾン

- ・ 特に異議なく承認された。

・ TEMP/202 R1 WRC-23 議題 1.12 に係る WP7C への返信リエゾン

- ・ 特に異議なく承認された。

・ TEMP/226 R1 議題 1.16 の活動に係る WP4A への返信リエゾン

- ・ 特に質疑なく承認された。

・ TEMP/227 R1 議題 1.17 の活動に係る WP4A への返信リエゾン

- ・ 議長から、反対があるか、問われた。
- ・ イランから、反対とも同意とも言えない。議題 1.17 と議題 1.16。ESIM に関して、意見があった。
- ・ WG4 議長から、「It is also understood that the draft Resolution under this WRC-23 agenda item including a general provision indicating that inter satellite systems/links shall not cause unacceptable interference , nor claim protection from MS, irrespective of whether or not inter satellite systems/links complies with the pfd mask.」との説明があった。
- ・ 米国から、pfd マスクについて発言があった。
- ・ イランから、pfd マスクに関し、「 pfd mask or any other arrangement」。議題 1.15 は確かに pfd マスク。議題 1.16 も、との意見あった。
- ・ ドイツから、「arrangement for the protection MS.」の提案があった。
- ・ イランから、「for information」ではなく、「for action」の提案があった。
- ・ その後、承認された。

・ TEMP/228 R1 議題 1.19 の活動に係る WP4A への返信リエゾン

- ・ 特に質疑なく承認された。

・ TEMP/229 R1 議題 1.15 の活動に係る WP4A への返信リエゾン

- ・ 特に質疑なく承認された。

・ TEMP/242 R1 議題 1.3 の CPM テキスト案

- ・ 議長から、一回（一瞥）で承認できるか問われ、チャプター・ラポータに送付することが承認された。
- ・ WG4 はこれで終わり。

【WG5 新技術】

- ・ WG5 議長（日本）から、TEMP/243 を基に、WG5 の活動の報告があった。
- ・ 特に質問等なかった。

・ **TEMP/201 R2 ITU-R 報告 M. 2417-0「275-450 GHz 帯における陸上移動業務の技術・運用特性」の改訂**

- ・ WG5 議長から、説明があった。
- ・ 特に質疑なく承認され、SG5 に提出されることとなった。

- ・ イランから、議長の発言に対して「adoption」と「approval」は、ITU-R で特別な意味を持つとの指摘があった。

- ・ WG4 議長から、TEMP/200（252-296 GHz 帯で運用する陸上移動業務と固定業務のアプリケーションとの間の共存）は、一段階格上げをした、との注意喚起があった。

4 WP5A 管理 (5A/TEMP/225)

- ・ 特になし。

5 議長報告への Annex の一覧 (5A/TEMP/224)

- ・ 議長から、将来更なる作業を行うとの連絡があった。
- ・ WG4 議長から、発言があった。
- ・ 議長から、小さな修正を行うとの発言があった。

6 リエゾンラポータからの報告

- ・ 第一地域から、多くの内容があり代表団にレビューを求める。等の報告があった。
- ・ 第三地域から、AWG での活動の報告があった。何かあれば、議長にメールを送るように求められた。

7 WP5A 及び SG5 の将来の会合のスケジュール

- ・ 議長から、確認があった。

WP5A : 2022 年 11 月 14 日（月）～25 日（金）

WP5A : 2023 年 5 月 8 日（月）～19 日（金）

WP5A : 2023 年 9 月 11 日（月）～22 日（金）

- ・ カウンセラーから、2023 年から 2026 年まで ITU ビルの建替え工事を行うとの案内があった。

8 その他

- ・ ATDI から、今回は WP5A と WP5C が一緒に行う最後の機会。11 月の WP5C 会合は、12 日ではなく一週間。2023 年は忙しい、との説明があった。
- ・ ドイツから、発言があった。

9 閉会

- ・ 議長から、閉会が宣言された。

4 各WG等における審議内容

4.1 WG1 (アマチュア及びアマチュア衛星業務)

【入力文書】

WRC-23 AI 9.1 b) Res. 774	491 Annex 6 (WP5A); 491 Annex 7 (WP5A); 522 (France, Germany); 538 (Canada); 543 (Russian Federation); 544 (France); 556 (WP4C); 557 (IARU) Characteristics: 491 Annex 10 (WP5A); 539 (Canada) Proposed new Rec. M. [AS GUIDANCE]: 491 Annex 11 (WP5A); 545 (France); 577 (Germany) Rec. ITU-R M.1732: 491 Annex 12 (WP5A); 586 (IARU) WRC-23 AI 1.12: 530 (WP7C)
Sharing studies	

【出力文書】

WRC-23 AI 9.1 b) Res. 774	5A/TEMP/198 R1、214、217 R1、218 R1、219 R1、231
Sharing studies	5A/TEMP/220 R1、232

【出席者】

議長：Mr. Dale Hughes (オーストラリア)

【審議概要】

- ・ WG1 は 14 回開催し、15 件の文書を審議して、作業を完了した。
- ・ WRC-23 議題 9.1 b) について、4.1.1 に記述する作業を実施した。
- ・ 共用検討に関して、ITU-R 勧告 M.1732-2 「共用検討での使用のためのアマチュア及びアマチュア衛星業務で運用するシステムの特長」改訂草案の作成を継続した。また、WRC-23 議題 1.12 に関し、WP7C 宛てのリエゾンを作成した。

4.1.1 WRC-23 議題 9.1 トピック b) 決議第 774

【入力文書】

91 Annex 6 (WP5A); 491 Annex 7 (WP5A); 522 (France, Germany); 538
(Canada); 543 (Russian Federation); 544 (France); 556 (WP4C); 557
(IARU)

Characteristics: 491 Annex 10 (WP5A); 539 (Canada)

Proposed new Rec. M. [AS GUIDANCE]: 491 Annex 11 (WP5A); 545 (France);
577 (Germany)

【出力文書】

5A/TEMP/198 R1、214、217 R1、218 R1、219 R1、231

【審議概要】

- ・ WRC-23 議題 9.1 b) 関連の文書として、WP5A でアマチュア特性のみのレポート、WP4C で干渉検討のレポート、WP5A でガイダンスの勧告で進めていくこととした。
- ・ CPM テキストは、各国寄与文書の提案を取りまとめた文書で審議、取捨選択を行い、文言の修正を行って、出力文書を作成した。
- ・ ITU-R 新報告草案 M. [AMATEUR CHARACTERISTICS] は、アマチュア業務の局の特性のみを扱うこととしたため、RNSS の特性に関する記述を削除し、次回会合に持ち越した。
- ・ WDPDN Recommendation M. [AS GUIDANCE] について各国寄与文書の提案及び電子メールグループで出された意見を取りまとめた文書で審議し、ANNEX 1 までの審議で時間切れとなり、次回会合に持ち越した。
- ・ WP4C への作業進捗報告のリエゾンを作成した。
- ・ 作業計画に、これまでの作業を反映し、作業報告とした。

4.1.6 共用検討

【入力文書】

Rec. ITU-R M.1732: 491 Annex 12 (WP5A); 586 (IARU)

WRC 23 AI 1.12: 530 (WP7C)

【出力文書】

5A/TEMP/220 R1、232

【審議概要】

- ・ ITU-R 勧告 M.1732-2 の改訂案を審議し、合意したが、プレナリで改訂内容の記述がないとして承認されず、次回会合に持ち越した。
- ・ WRC-23 議題 1.12 に関し、45 MHz 帯衛星搭載レーダーサウンダーから隣接帯域の 50-54 MHz 帯アマチュア業務への干渉を懸念する WP7C 宛てのリエゾンを作成した。

4.2 WG2 (システムと標準)

【入力文書】

Railways (incl. Res. 240 (WRC-19))	Rep. ITU-R M. 2442: 491 Annex 13 (WP5A); 537 (Korea)
Broadband Wireless Access	Rec. RSTT Frequencies: 491 Annex 14 (WP5A), 513 (APT), 551 (China)
Land mobile systems Air to Ground	Rec. ITU-R RSTT Frequencies: 491 Annex 14 (WP5A); 513 (APT); 551 (China)
RLAN characteristics	Rec. ITU-R M. 2134: 221 Annex 11 (WP5A)
ANT, HNT	Rec. ITU-R M. 1801: 491 Annex 16 (WP5A); 540 (Canada); 547 (IEEE); 576 (XGP Forum)
	Rec. ITU-R M. 1450: 491 Annex 15 (WP5A); 526 (ETSI); 535 (Korea); 546 (IEEE); 548 (China); 568 (Japan)
	Utilities: 491 Annex 17 (WP5A); 501 (ITU-T SG15); 509 (WP5D);

【出力文書】

Railways (incl. Resolution 240 (WRC-19))	5A/TEMP/205 (M. 2442), 206 (Rev.1) (FRQ), 208Rev1 (workplan), 209 (Rev.1) (LS to all Regions), 210 (Rev.1) (LS to AWG)
Broadband Wireless Access	5A/TEMP/238 (WD on M.1801); 236 (WD on M. 1450); 237 (WAS. FRQ)
Land mobile systems	5A/TEMP/239 (Report on Utilities); 233 (Rev.1) (LS- 5D on Utilities); 207Rev.1 (Work plan on Utilities); 204 (Rev.1) (LS-5C on Res.59); 234Rev.1 (WD on AUDIO-PMSE_LMS); 235 (Workplan on AUDIO-PMSE_LMS)
Air to Ground	—
RLAN characteristics	—
ANTs, HNTs, etc.	—

【出席者】

議長：Mr. Lang Baozhen (中国)、各国代表団

【審議概要】

- (1) Railways (決議第 240 (WRC-19) 含む)
 - ・議長から SWG の設置が提案されたが、アメリカ、ドイツ、フランス、オーストラリアなどの反対により同意が得られず、オフライン・ドラフティンググループで議論することとなった。(最終的には 4 回の公式なドラフティング会合が開催された。)
 - ・本 WP5A 会合中に 3 回 DG RSTT を開催した。DG 会合に先立ち、WG5A-2 によって RSTT のオフラインでの議論グループが設置された。

- ・ DG RSTT は次の問題に関し作業を行った。
 - ・ 問題 1 ITU-R 勧告 RSTT FRQ 及び ITU-R 報告 M. 2442-0 の作業文書の前身
 - ・ 問題 2 RSTT の作業計画の更新
 - ・ 問題 3 地域機関及び AWG へのリエゾン
- ・ WG レベルで議論のため 5 件の TEMP 文書が提出された。WP5A 議長報告に添付される 2 件の作業文書と 1 件の作業計画、及びリエゾンの 2 件である。
- ・ ITU-R 報告 M. 2442-0 の改訂草案に向けた作業文書に関して、入力寄与文書及び議論に基づき、更に改訂文書が作成された (TEMP/205)。DG 議長から次回会合に持ち越すとの説明があり、特に議論はなかった。
- ・ ITU-R 新勧告草案 M. [RSTT_FRQ] に向けた作業文書に関して、入力寄与文書及び議論に基づき、更に文書が作成された (TEMP/206 R1)。DG 議長から次回会合に持ち越すとの説明があり、特に議論はなかった。
- ・ 作業計画に関する議論について、作業計画が更新された (TEMP/208)。RSTT に関する作業計画に向けた作業文書は、Annex の Attachment 1 に添付されている。DG 議長より RSTT により使用される周波数の調和に関する勧告 (TEMP/206 R1 (FRQ)) の完成時期を 2022 年 11 月から 2023 年 5 月に見直したことの説明があった。また、2023 年の SG5 の時期をスクエア・ブラケット付きで 9 月としていたが、WP5A 議長から 9 月に決定しておりスクエア・ブラケットは削除してよいとコメントがあり、修正の上合意された。
- ・ 2 件のリエゾンは、オフラインでの議論グループ及び功績な DG RSTT のセッションで議論、合意され、承認のため、WP5A のプレナリに提出された (TEMP/209、210)。TEMP/209 (LS to all regions) については、フランスからのコメントによりエディトリアルな修正が行われ合意された。TEMP/210 (LS to AWG) については、フランス、米国からコメントにより、エディトリアルな修正が行われ合意された。

(2) Broadband Wireless Access

- ・ ITU-R 勧告 M. 1450、M1801 の改訂について、以下のとおり議論された。
- ・ ITU-R 勧告 M. 1801 については、入力寄与文書を統合した作業文書が作成され、特に反対意見はないまま、作業文書が WP5A 議長報告に添付され、継続議論となった。また、周波数の記載を別の文書 (ITU-R 新報告草案 M. [BB-WAS. FREQ]) に分離する提案があり、作業文書が作成され、継続議論となった。
- ・ ITU-R 勧告 M. 1450 については、1) recommends の言葉遣い、2) ブロードバンド RLAN 標準の特性表における周波数の記載、3) 「地域及び国レベルでの RLAN の周波数範囲及び使用条件」の表を中心に議論が行われた。入力寄与文書を統合した作業文書は、WP5A 議長報告に添付され、継続議論となった。

(3) Land mobile systems

- ・ 公共無線通信 (Utility Communication Systems : UCS) について、ITU-R 新報告草案 M. [UTILITIES] の作業文書 (5A/TEMP/186) の作業を継続した (5A/TEMP/)。

(4) Air to Ground

- ・ ITU-R 報告 M. 2282 の改訂について新たな寄与文書の入力はなく、前回会合の議長報告に添付されていた作業文書を次回会合に持ち越すこととした (5A/359 Annex 17)。

(5) RLAN characteristics

- ・ 上記(2)の Broadband Wireless Access の中で議論された。

(6) ANTs、HNTs 等

- ・ 前回会合から持ち越されてきた ITU-T からのリエゾン文書 (5A/351、352、353) について、現時点で更なる措置は必要ないと判断し、ノートした。

4.2.1 鉄道 (決議第 240 (WRC-19) 含む)

【入力文書】

Report ITU-R M. 2442: 491 Annex 13 (WP5A); 537 (Korea)

Recommendation ITU-R RSTT Frequencies: 491 Annex 14 (WP5A); 513 (APT); 551 (China)

【出力文書】

5A/TEMP/205 (M. 2442), 206 (Rev. 1) (FRQ), 208Rev1 (workplan), 209 (Rev. 1) (LS to all Regions), 210 (Rev. 1) (LS to AWG)

【審議概要】

- ・ ITU-R 報告 M. 2442 については、前回からの持越し文書と韓国の入力文書に基づき改訂作業が行われ、韓国から提案のあった Train positioning と Train surveillance における LTE-R は追加された。一方で、Train positioning の Applications に Communication を追加する提案は、他のレポート (ITU-R M. 2418-0) に影響を及ぼすことと、表の構造も変更が必要であることから、LTE-R の Application が Communication であることを footnote に記載することを中国が提案、韓国も同意した。
- ・ ITU-R 勧告案 M. [RSTT_FRQ] については、フランスから「GLOBAL」の周波数調和を削除する提案があったが、中国、米国、日本が反対し、残すことになった。また、前回会合で我が国から提案したが採用されなかった Recommends パートにおける option1 の削除については、今回会合で中国からも同様の提案があり、特に反対意見はなく削除された。さらに、第三地域の周波数調和の状況を記載する ANNEX 4 において、Train Positioning に記載のある 3.951-4.516 MHz は移動業務に割り当てられていないことから、提案元の AWG で確認するよう返答リエゾンで依頼することとなった。なお、元々我が国が提案した周波数調和の方法を示す APPENDIX は、その中で説明している logical OR approach が第三地域で採用されていることから、第三地域の周波数調和の状況を記載する ANNEX 4 に移動することとした。
- ・ 作業計画については、ITU-R 勧告案 M. [RSTT_FRQ] の完了予定を 2023 年 5 月に変更するという案に対し、日本、中国、ATDI より当初予定通り 2022 年 11 月を目標とし、変更すべきではないという意見が出されたが、フランスやア

アメリカより、リージョナルやサブリージョナルグループからの情報を集めるための時間が必要であるとの意見が出され、2023年5月のWP5Aで完成させて、9月のSG5へ上程する案で合意された。

- ・リエゾンについては、RSTTにより使用される周波数の地域的調和に関する情報提供を求める全地域組織に対するリエゾンと、入力文書に対する返信として、入力した内容の再考を求めるAWGに対する返信リエゾンの、二つのリエゾン文書が作成された。なお、CEPTに対するリエゾン文書を作成する提案もあったが、見送られた。

4.2.2 ブロードバンド無線アクセス (BWA)

【入力文書】

Recommendation ITU-R M.2134: 221 Annex 11 (WP5A)

Recommendation ITU-R M.1801: 491 Annex 16 (WP5A); 540 (Canada); 547 (IEEE); 576 (XGP Forum)

Recommendation ITU-R M.1450: 491 Annex 15 (WP5A); 526 (ETSI); 535 (Korea); 546 (IEEE); 548 (China); 568 (Japan)

【出力文書】

5A/TEMP/238 (WD on M.1801); 236 (WD on M.1450); 237 (WAS. FRQ)

【審議概要】

- ・ITU-R 勧告 M.1801, ITU-R 勧告 M.1450 の修正が議論された。なお、これら勧告修正の議論の経緯としては、IEEE が最近の IEEE 802.11 の標準仕様の更新 (802.11ax の 6GHz 帯の追加など) を反映させる修正提案を行い、それに対抗する形で、中国・ロシアが 6GHz 帯の RLAN 利用の制約を追加する提案をしていた。日本からは、以前の会合で、日本国内制度と RR に関する古い記述の修正提案を入力し、M.1450 の作業文書に暫定反映済みである。
- ・ITU-R 勧告 M.1801 について、主な入力寄書として、IEEE から作業文書の修正提案、カナダから周波数の記載を別の ITU-R 報告として分離する提案、XGP Forum から標準仕様の更新に関する情報提供があった。
- ・ITU-R 勧告 M.1450 について、主な入力寄書として、IEEE から作業文書の修正提案、中国から recommends 1 の修正や周波数表を新たな Annex に移動する提案、韓国から韓国国内制度改正の反映 (6GHz 帯の追記) の提案、ETSI から標準仕様の更新に関する情報提供などがあった。日本からは、6GHz 帯の RLAN の利用の制約追加案を削除する提案の寄書を入力した。
- ・それぞれの勧告について、IEEE が、入力寄書の内容を統合した作業文書を作成し、議論された。
- ・ITU-R 勧告 M.1801 の議論では、統合作業文書について、特に反対意見などは無く、次回会合に持ち越し、継続議論となった。なお、カナダによる周波数の記載を別の ITU-R 報告に分離する提案は、ITU-R 新報告草案 [BB-WAS. FREQ] に向けた作業文書として、継続議論されることとなった。
- ・M.1450 の議論では、中国から、論点として、(1) M.1801 向けのカナダ寄書案のように周波数の記載を ITU-R 報告に分離、(2) 6GHz 帯を含む周波数の参照

に関する文言の修正、(3) 6GHz 帯に関して共用検討されていないことから既存業務保護のため別の形の記載、が挙げられた。

- ・ M. 1450 の周波数の参照に関する議論では、米国が、本勧告は本来、標準技術の参照を示すもので、周波数を規定するものではないため、目的の整理が必要と主張した。中国が、周波数の記載を含む Table 2 について、以前は “can be referred” となっていたが、その後 “should be referred” と変わっていること、また、文書の冒頭に記載の Questions と整合をとるべきであること、6GHz 帯の RLAN を使用する国も増えているためグローバルなハーモナイゼーションが必要であることを主張した。インテルから、周波数の記載を切り離すことに懸念が示された。
- ・ M. 1450 に関しては、共用検討や干渉の影響が議論され、米国から、共用検討と勧告 M. 1450 の記載事項は別の問題であると指摘され、中国・ロシアが、固定衛星への干渉の影響が懸念され、共用検討されていないことは問題であり、何らかの形で勧告にその旨記載すべきと主張した。
- ・ 日本の寄書（6 GHz 帯 RLAN への制約追加の削除提案）については、特に反対意見は無く、提案の 1 つとして作業文書に暫定反映された。
- ・ オフラインのメール議論が行われ、WP5A 議長の Jose Costa 氏が Convener を務めた。
- ・ オフライン議論では、M. 1450 について、recommends 1 の文言や周波数の記載を議論したが合意に至らなかった。Convener は、周波数に関する記述について、RR の記載事項は recognizing、各国の周波数に関する記載事項は noting で参照する形が望ましいとの見解を示した。
- ・ ITU-R 勧告 M. 1801, M. 1450 の改定の作業文書、および ITU-R 新報告草案 [BB-WAS. FREQ] に向けた作業文書は、次回会合で継続議論されることとなった。

4.2.3 陸上移動システム

【入力文書】

Utilities: 491 Annex 17 (WP5A); 501 (ITU-T SG15); 509 (WP5D); 534 (Ireland)

Testbeds: 497R1 (ITU-T SG11); 518 (FG-TBFXG)

Artificial Intelligence: 498 (ITU-T SG13)

PSME/Res. 59: 485 (WP6A); 495 (WP5C); 510 (WP5D); 512 (WP6A); 581 (Germany)

【出力文書】

5A/TEMP/239 (Report on Utilities); 233 (Rev.1) (LS- 5D on Utilities); 207Rev.1 (Work plan on Utilities); 204 (Rev.1) (LS-5C on Res.59); 234Rev.1 (WD on AUDIO-PMSE_LMS); 235 (Workplan on AUDIO-PMSE_LMS)

【審議概要】

- ・ 公共無線通信について、1 件の寄与文書及び 2 件のリエゾンを受領した。それらの文書は、5A/TEMP/239 に統合された。公共無線通信の進捗に関し、WP5D に知らせるため、返信リエゾンを作成した。作業計画が見直され、更新された。
- ・ テストベッドに関する ITU-T SG11 及び FG-TBFXG により提供された情報をノ

ートし、現時点で更なる措置の必要がないことを確認した。

- ・人工知能に関する ITU-T SG13 により提供された情報をノートし、現時点で更なる措置の必要がないことを確認した。
- ・PSME/決議第 59 について、入力寄与文書に基づき、WP5C への返信リエゾン及び PSME に関する新報告を作成した。

4.2.4 空対地

【入力文書】

Update of Report ITU-R M.2282: 359 Annex 17 (WP5A); 580 (Germany)

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・ITU-R 報告 M.2282 について、新報告草案 (PDNR) への文書の格上げを提案するドイツからの 1 件の寄与文書を受領した。しかしながら、合意が得られなかった。ITU-R 報告 M.2282 の改訂作業を促進するため、主管庁に将来の WP5A 会合に更新情報を入力するよう促された。

4.2.5 無線 LAN (RLAN) の特性

【入力文書】

—

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・ITU-R 勧告 M.1450 の改訂草案に向けた作業文書は、第 4.2.2 節「BWA」で ITU-R 勧告 M.1801 とともに検討された。

4.2.6 ANT、HNT 等

【入力文書】

500 (ITU-T SG9); 502 (ITU-T SG15); 504 (ITU-T SG9); 505 (ITU-T SG15)

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・ANT 及び HNT に関する ITU-T SG9 及び SG15 により提供された情報をノートし、現時点で更なる措置は必要ないことが確認された。

4.2.7 ITU-R 文書の見直し

【入力文書】

—

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・ 文書 5A/491 の Annex 1 の第 1 節及び陸上移動業務に関連する ITU-R 文書の使用の手引を見直した。WG2 の観点から、微小な修正が提案された。

4.3 WG3 (PPDR)

【入力文書】

Update of ITU-R Repots	M. 2377: 491 Annex 18 (WP5A); 559 (IAFI)
Updates of ITU-R Resolutions	Res. 55: 491 Annex 19 (WP5A); 558 (IAFI)

【出力文書】

Update of ITU-R Reports	5A/TEMP/197
Updates of ITU-R Resolutions	5A/TEMP/196

【出席者】

Amy Sanders 議長 (米国)

【審議概要】

- ・ WG3 は、今会合に 2 回開催した。2 件の入力寄与文書と WP5A プレナリで割り当てられた議長報告の 2 件の Annex を検討した。
- ・ 主な議題は、入力寄与文書に基づき、ITU-R 報告 M. 2377-1 の改訂をさらに作成すること、陸上移動業務の下での緊急通信に関するハンドブックの範囲及び構成を作成すること、ITU-R 決議第 55-3 の改訂に向けた作業文書をさらに作成することである。
- ・ ITU-R 報告 M. 2377-1 及び ITU-R 決議第 55-3 の改訂に関して、作業を前進した。これらの改訂及び緊急通信のベストプラクティス又はガイドラインのハンドブックの作成に関し、寄与が求められる。

4.3.1 ITU-R 報告 M. 2377-1 の改訂

【入力文書】

M. 2377: 491 Annex 18 (WP5A); 559 (IAFI)

【出力文書】

5A/TEMP/197

【審議概要】

- ・ 前回会合で、入力寄与文書に基づき、ITU-R 報告 M. 2377-1 の改訂を開始した。今回会合で、作業を進める寄与文書が受領され、作業文書を見直した (5A/TEMP/197)。次回会合で作業をさらに進めるため、寄与文書が求められる。

4.3.2 陸上移動業務の下での緊急通信に関するハンドブック (手引) の範囲及び構成の作成

【入力文書】

—

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・陸上移動業務の下での緊急通信に関する新たな文書の作成を検討することに合意していた。「関連する ITU-R の SG は、災害予測、検知、低減及び救援を支援する新たな技術に関する検討を継続する」という ITU-R 決議第 55-3 の義務を履行するため緊急無線通信に関するハンドブック（手引）を作成することが、一つの考えであった。
- ・ハンドブックの exact nature は、検討中である。ベストプラクティス及びガイドラインの双方が内容として提案された。今回合意に寄与が求められたが、受領しなかった。現在、WRC-23 関連話題に焦点を当てられていて、ハンドブックの範囲と構成を明確化するため、次回合意への寄与が求められた。

4.3.3 ITU-R 決議第 55-3 の改訂に向けた作業文書の作成

【入力文書】

Res. 55: 491 Annex 19 (WP5A); 558 (IAFI)

【出力文書】

5A/TEMP/196

【審議概要】

- ・ ITU-R 決議第 55-3 について、決議の改訂が無線通信総会でのみ合意されるという明確な理解とともに、決議の改訂の作成を継続した。入力寄与文書（5A/558）に基づいて、決議の改訂に向けて作業文書を作成した（5A/TEMP/196）。将来御合意で文章を改善するため、追加の入力が求められる。

4.4 WG4 (干渉と共用)

【入力文書】

Report of the 17th meeting of the joint IMO/ITU Experts Group	5A/492 (IMO)
Revision of Recommendation ITU-R F.699	5A/494 (WP5C)
Revision of Report ITU-R M.2116	5A/359 Annex 19 (WP5A)
ITU-R Report M. [252-296 GHZ. LMS. FS. COEXIST]	5A/487 (WP5C); 5A/491 Annex 21 (WP5A); 5A/573 (Japan)
Beam Wireless Power Transmission (WPT)	5A/371 (WP1A); 5A/524 (WP7D)
Non-Beam Wireless Power Transmission (WPT)	5A/483 (WP1A); 5A/532 (WP7A)
Vocabulary	5A/515 (ATDI); 5A/523 (WP7D)
EESS (passive) in the 6 GHz range related to RR No. 5.458	5A/496 (WP5C); 5A/529 (WP7C); 5A/533 (WP7A); 5A/555 (France)
WRC-19 agenda item 1.3	5A/491 Annex 4 (WP5A); 5A/491 Annex 5 (WP5A); 5A/491 Annex 20 (WP5A); 5A/553 (China); 5A/554 (China); 5A/560 (GSMA); 5A/561 (UK); 5A/562 (Ericsson); 5A/564 (Nigeria, South Africa, Zimbabwe); 5A/565 (Nigeria, South Africa, Zimbabwe); 5A/566 (GSMA); 5A/574 (Nokia); 5A/575 (Egypt, UAE); 5A/583 (Burkina Faso et al.); 5A/584 (Burkina Faso et al.)
WRC-23 agenda item 1.4	5A/506 (CG3J-3K-3M-14); 5A/508 (WP5D); 5A/511 (WP6A)
WRC-23 agenda item 1.12	5A/530R1 (WP7C)
WRC-23 agenda item 1.13	5A/517 (WP5B); 525 (WP7D); 563 (France)
WRC-23 agenda item 1.14	5A/528 (WP7C)
WRC-23 agenda item 1.15	5A/590 (WP4A)
WRC-23 agenda item 1.16	5A/591 (WP4A)
WRC-23 agenda item 1.17	5A/592 (WP4A)
WRC-23 agenda item 1.19	5A/589 (WP4A)
WRC-23 agenda item 9.1 topic a)	5A/527 (WP7C)
WRC-23 agenda item 9.1 topic d)	5A/531 (WP7C)
Resolution 731 (Rev. WRC-19)	5A/343 (WP7C); 5A/388 (WPs 3J, 3K and 3M); 5A/406 (WP7D); 5A/491 Annex 22 (WP5A); 5A/493 (WP5C); 5A/542 (Russian Federation)

【出力文書】

Report of the 17th meeting of the joint IMO/ITU Experts Group	—
Revision of Recommendation ITU-R F. 699	—
Revision of Report ITU-R M. 2116	—
ITU-R Report M. [252-296 GHZ. LMS. FS. COEXIST]	5A/TEMP/200 (PDN Report)
Beam Wireless Power Transmission (WPT)	—
Non-Beam Wireless Power Transmission (WPT)	—
Vocabulary	—
EESS (passive) in the 6 GHz range related to RR No. 5.458	5A/TEMP/212 (LS to WP7C)
WRC-19 agenda item 1.3	5A/TEMP/242 (draft CPM text); 5A/TEMP/223 (Working doc); 5A/TEMP/241 (Report of activities)
WRC-23 agenda item 1.4	—
WRC-23 agenda item 1.12	5A/TEMP/202 (Text for LS to WP7C)
WRC-23 agenda item 1.13	5A/TEMP/211 (LS to WP7B)
WRC-23 agenda item 1.14	5A/TEMP/216 (LS to WP7C)
WRC-23 agenda item 1.15	5A/TEMP/229 (LS to WP4A)
WRC-23 agenda item 1.16	5A/TEMP/226 (LS to WP4A)
WRC-23 agenda item 1.17	5A/TEMP/227 (LS to WP4A)
WRC-23 agenda item 1.19	5A/TEMP/228 (LS to WP4A)
WRC-23 agenda item 9.1 topic a)	5A/TEMP/215 (LS to WP7C) (発出なし)
WRC-23 agenda item 9.1 topic d)	—
Resolution 731 (Rev. WRC-19)	5A/TEMP/199 (Working doc.)
Revision of WP5A texts	—
Report of the 17th meeting of the joint IMO/ITU Experts Group	—
Revision of Recommendation ITU-R F. 699	—

【出席者】

議長 Michael Kraemer (ドイツ)

【審議概要】

- ・ WRC-23 議題 1.3 に関する CPM テキスト案を完成した。

- ・日本寄書に基づき ITU-R 新報告草案 M. [252-296 GHz. LMS. FS. COEXIST]に向けた作業文書を更新し、新報告草案に格上げした。
- ・EES（受動）との共用検討のための 6 GHz 帯 WAS/RLAN の技術条件に関して、WP7C への返信リエゾンを作成した。
- ・ITU-R 新報告草案 M. [LMS. CONDITIONS>275GHz]に向けた作業文書を更新した。
- ・WRC-23 議題 1.12、1.13、1.14、1.15、1.16、1.17 及び 1.19 に関し、WP4A、7B 及び 7C に返信リエゾンを作成した。

4.4.1 IMO/ITU 合同専門家グループ第 17 回会合の報告

【入力文書】

5A/492 (IMO)

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・IMO から提供された情報をノートし、必要に応じて WP5A の作業において考慮することとした。

4.4.2 ITU-R 勧告 F. 699 の改訂

【入力文書】

5A/494 (WP5C)

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・WP5C から提供された情報をノートし、現時点で更なる措置の必要がないことを確認した。

4.4.3 ITU-R 報告 M. 2116 の改訂

【入力文書】

5A/359 Annex 19 (WP5A)

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・改訂を作成するための寄与文書の入力があったため、次回会合に作業文書を持ち越すことに合意し、特に 6 GHz 帯の WAS/RLAN のパラメータに関し、寄与文書の入力を促すこととした。

4.4.4 252-296 GHz 範囲 (ITU-R 新報告草案 M. [252-296 GHz. LMS. FS. COEXIST])

【入力文書】

5A/487 (WP5C)、491 Annex 2 (WP5A)、573 (日本)

【出力文書】

5A/TEMP/200

【審議概要】

- ・日本の入力寄与文書 (5A/573) に基づき ITU-R 新報告草案 M. [252-296 GHz. LMS. FS. COEXIST] に向けた作業文書を更新し、既に多数の会合で作業が行われ、文書が成熟した状態にあることから、本文書の新報告草案に格上げすることに同意した。
- ・2022年11月の次回 WP5A 会合でさらに検討し、SG5 に提出できるかどうかを検討する。

4.4.5 ビーム無線電力伝送 (WPT)

【入力文書】

5A/371 (WP1A)、524 (WP7D)

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・WP1A 及び WP7D から提供された情報をノートし、現時点で意見がないことを確認した。

4.4.6 非ビーム無線電力伝送 (WPT)

【入力文書】

5A/483 (WP1A)、532 (WP7A)

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・WP1A 及び WP7A から提供された情報をノートし、現時点で意見がないことを確認した。

4.4.7 用語

【入力文書】

5A/515 (ATDI)、523 (WP7D)

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・WP7D から文書 5A/523 で提供された情報をノートし、現時点で意見がないこ

とを確認した。

- ・無線通信規則に 300–3000 GHz の名称として「THF」を追加し、それに従って ITU-R 勧告 V.341 を改訂する提案を議論した (5A/515)。当該名称はまだ RR に含まれておらず、本周波数範囲に関する WP5A での進行中の作業に関連して本問題を検討すべきであるとの見解と、本問題は、まず CCV で取り扱われるべきであり、CCV 会合での議論に基づき、次の段階として WP5A により更なる措置がとられるとの別の見解が表明された。また、そのほかに、WP5A は既に ITU-R 報告 M.2417 を作成し、当該周波数範囲が取り扱われており、RR で「THF」のシンボルがないことは本報告を用意する際に問題とならなかったことが指摘された。
- ・CCV 会合における本提案の議論に基づき、2022 年 11 月の次回 WP5A 会合で必要に応じて本問題を扱うこととなった。

4.4.8 RR 第 5.458 条に関連する 6 GHz 範囲の EESS (受動)

【入力文書】

5A/496 (WP5C); 5A/529 (WP7C); 5A/533 (WP7A); 5A/555 (France)

【出力文書】

5A/TEMP/212 (LS to WP7C)

【審議概要】

- ・WP7C から、6425–7250 MHz 帯 EESS (受動) と 6 GHz 帯 WAS/RLAN の共用検討を行うため、WAS/RLAN の技術条件 (WP7C による想定パラメータを含む) の確認を求めるリエゾン文書 (5A/529) が入力され、それに対するフランスの修正提案 (5A/555) が提示され、これらの文書が議論された。
- ・米国が、フランスの修正提案の根拠について懸念を示し、現時点で WP7C に対して明確な技術条件を回答できる状態ではないため、今回の会合では暫定的な回答のみ行うことを主張した。
- ・WG 議長・米国から、本件の共用検討条件は、ITU-R 報告 M.2116 の更新の形で記載されるべきであるため、M.2116 の修正の議論を次回会合以降で行うことが提案され、合意された。
- ・今後 WP7C に提供すべきパラメータを作成するための要素を集めたプレースホルダー文書として 5A/529 と 5A/555 を統合した文書 (TEMP/203) が作成された。しかし、本文書を次回会合に持ち越すと、使用すべきパラメータについて混乱を招く恐れがあるとして米国、カナダが持ち越しに反対したため、TEMP/203 は持ち越さず、5A/529 と 5A/555 をそのまま持ち越すこととなった。
- ・WP7C への暫定回答 (作業が進行中であること) の返信リエゾン文書が作成され、合意された。

4.4.9 WRC-23 議題 1.3

【入力文書】

5A/491 Annex 4 (WP5A); 5A/491 Annex 5 (WP5A); 5A/491 Annex 20 (WP5A);

5A/553 (China); 5A/554 (China); 5A/560 (GSMA); 5A/561 (UK); 5A/562 (Ericsson); 5A/564 (Nigeria, South Africa, Zimbabwe); 5A/565 (Nigeria, South Africa, Zimbabwe); 5A/566 (GSMA); 5A/574 (Nokia); 5A/575 (Egypt, UAE); 5A/583 (Burkina Faso et al.); 5A/584 (Burkina Faso et al.)

【出力文書】

5A/TEMP/242 (draft CPM text); 5A/TEMP/223 (Working doc); 5A/TEMP/241 (Report of activities)

【審議概要】

- ・入力された共用／両立性検討 7 件 (5A/553 (中国)、554 (中国)、562 (エリクソン)、564 (ナイジェリア、南アフリカ、ジンバブエ)、566 (GSMA)、574 (ノキア)、584 (ブルキナファソ他) につき質疑応答を行い、また、各検討で使用された前提やパラメータの比較表を作成した。質疑応答をまとめた表及びパラメータ比較表を新報告の作業文書に統合し、5A/597 Annex 22 (5A/TEMP/223) として WP5A 議長報告に添付して次回会合に持ち越すこととなった。
- ・CPM テキスト案 (5A/597 Annex 4 (5A/TEMP/242)) の作成を完了した。Methods としては以下の四つが作成された (<>内は提案者)。
 - Method A<ブルキナファソ他¹、GSMA>: NOC
 - Method B<ナイジェリア他²、GSMA>: 第一地域において 3 600-3 800 MHz を移動業務への一次分配に格上げ (条件なし)
 - Method C<ナイジェリア他、CEPT、GSMA、>: 第一地域において 3 600-3 800 MHz を移動業務への一次分配に格上げ (規制／技術条件あり、五つの Alternatives C1~C5 を含む)
 - Method D<エジプト、UAE>: 第一地域において 3 600-3 800 MHz を移動業務への一次分配に格上げとともに IMT 特定
- ・なお、Method B (条件なし一次分配格上げ) に対しては、これまでに行われた検討に基づき FSS と移動業務の共存は何らかの制約なしでは実現不可能としてドイツ、フランス、英国が懸念を示した。
- ・また、Method D (一次分配格上げとともに IMT 特定) に対しては、フランス、ロシア、英国、イラン、GSOA 等が IMT 特定は本議題の範囲外である等の理由から懸念を示した (CPM テキスト冒頭に View として各 Method に対する見解が記載されている)。

4.4.10 WRC-23 議題 1.4

【入力文書】

5A/506 (CG3J-3K-3M-14); 5A/508 (WP5D); 5A/511 (WP6A)

【出力文書】

¹ ブルキナファソ、コートジボワール、ガーナ、ギニア、マリ、ニジェール、トーゴ

² ナイジェリア、南アフリカ、ジンバブエ

—

【審議概要】

- ・ CG 3J-3K-3M-14、WP5D 及び WP6A により提供された情報をノートし、現時点で更なる措置の必要がないことを確認した。

4.4.11 WRC-23 議題 1.12

【入力文書】

5A/530R1 (WP7C)

【出力文書】

5A/TEMP/202 (Text for LS to WP7C)

【審議概要】

- ・ WRC-23 議題 1.12 に関する作業に関連して、WP7C により提供された情報を検討し、WG5A-1 で作成された WP7C への返信リエゾンに WG5A-4 の見解が組み込まれるよう文章を作成した。

4.4.12 WRC-23 議題 1.13

【入力文書】

5A/517 (WP5B) ; 525 (WP7B) ; 563 (France)

【出力文書】

5A/TEMP/211 (LS to WP7B)

【審議概要】

- ・ WP5B から WP7B について共用検討の一環として 14.8-15.35 GHz で運用される SRS が AMS に課す可能性がある制約について検討するため新たなシナリオ (SRS が被干渉側になる物など) を検討するよう促し、また WP7B に提出されたヘリテレ (HTTS) の特性についても共用検討に用いて差し支えないことを連絡するリエゾン文書が WP5A にもコピーされており (5A/517)、これについてはノートされた。
- ・ WP7B から送られたリエゾン文書 (5A/525) では WRC-23 議題 1.13 に関し、新報告草案 ITU-R SA. [15 GHz SRS SHARING] に向けた作業文書 (7B/198 Annex1) に共用検討のサマリーをまとめていること、また、CPM テキスト案も作業を進めたことが連絡されていたところ、これに対する返信リエゾンの草案がフランスから提案された (5A/563) ため、これに基づきこの問題に関する WP5C での議論も考慮して、LMS 保護に関しさらなる検討 (150 km未満、550 km超も含む) が必要であるという見解、また、LMS を干渉側とした共用検討の CPM テキストへの反映については、決議 661 (WRC-19、当該周波数帯での SRS の一次分配格上げが既存一次業務に制約を課してはならない) を考慮し、適切に CPM テキストに反映すべきであるという見解を連絡する WP7B への返信を発出した。

4.4.13 WRC-23 議題 1.14

【入力文書】

5A/528 (WP7C)

【出力文書】

5A/TEMP/216 (LS to WP7C)

【審議概要】

- ・WP7Cにより提供された情報をノートし、求めに応じて意見を提供する返信リエゾンを作成した。
- ・返信リエゾンの文章の議論において、現在、表から漏れていると思われるRRの関連脚注を追加するため、WP7Cはリエゾンの添付で表を更新したいと考えているとのことが提案された。

4.4.14 WRC-23 議題 1.15

【入力文書】

5A/590 (WP4A)

【出力文書】

5A/TEMP/229 (LS to WP4A)

【審議概要】

- ・WP4Aにより提供された情報をノートし、求めに応じて意見を提供する返信リエゾンを作成した。

4.4.15 WRC-23 議題 1.16

【入力文書】

5A/591 (WP4A)

【出力文書】

5A/TEMP/226 (LS to WP4A)

【審議概要】

- ・WP4Aにより提供された情報をノートし、求めに応じて意見を提供する返信リエゾンを作成した。

4.4.16 WRC-23 議題 1.17

【入力文書】

5A/592 (WP4A)

【出力文書】

5A/TEMP/227 (LS to WP4A)

【審議概要】

- ・WP4Aにより提供された情報をノートし、情報を見直す時間がないこと、また

現時点で意見のないことを説明する返信リエゾンを作成した。

4.4.17 WRC-23 議題 1.19

【入力文書】

5A/589 (WP4A)

【出力文書】

5A/TEMP/228 (LS to WP4A)

【審議概要】

- ・ WP4A により提供された情報をノートし、情報を見直す時間がないこと、また現時点で意見のないことを説明する返信リエゾンを作成した。

4.4.18 WRC-23 議題 9.1 a)

【入力文書】

5A/527 (WP7C)

【出力文書】

5A/TEMP/215 (LS to WP7C) (発出なし)

【審議概要】

- ・ WP4A により提供された情報をノートし、返信リエゾンの文章案を作成した。しかしながら、リエゾン案において決議第 657 (WRC-19 改) の resolves 2 への意見を WP5A が提供すべきかどうかについて議論になり、返信リエゾン案に合意できなかったため発出しないこととなった。返答リエゾン文書を発出して懸念を示すべきと主張していた米国は、その旨の声明を WG4 議長報告に含めることを要請した。

4.4.19 WRC-23 議題 9.1 d)

【入力文書】

5A/531 (WP7C)

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・ WP7C により提供された情報をノートし、現時点で更なる措置の必要がないことを確認した。

4.4.20 RR 決議第 731 (WRC-19 改)

【入力文書】

5A/343 (WP7C); 5A/388 (WPs 3J, 3K and 3M); 5A/406 (WP7D); 5A/491 Annex 22 (WP5A); 5A/493 (WP5C); 5A/542 (Russian Federation)

【出力文書】

5A/TEMP/199 (Working doc.)

【審議概要】

- ・ WP7C、WP3J、3K、3M、WP7D 及び WP5C により文書 5A/343、388、406 及び 493 でそれぞれ提供された情報をノートし、現時点で更なる措置の必要がないことを確認した。
- ・ 入力寄与文書 5A/542 に基づき作業文書を更新し、2022 年 11 月の次回会合で本話題に関し作業を進め、作業の前進のため入力寄与文書が促された。

4.4.21 WP5A 文書の見直し

【入力文書】

5A/221 Annex 1 の第 1 節

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・ 文書 5A/221 の Annex 1 の第 1 節及び陸上移動業務に関連する ITU-R 文書の使用の手引きに関し、本 WP5A 会合で意見がなく、文書 5A/221 の Annex 1 の第 1 節に関する意見を直接 WP5A 議長に伝えるよう代表団に促された。

4.5 WG5（新技術）

【入力文書】

Intelligent transport systems (ITS)	CAV (Question ITU-R 261/5): 491 Annex 23 (WP5A); 519 (USA); 536 (Korea); 549 (China); 550 (China); 552 (China); 567 (Qualcomm); 569 (Japan); 570 (Japan); 578 (Germany); 579 (Germany)
275 GHz 超	Rec. ITU-R M. 2121: 359 Annex 25 (WP5A) Rep. ITU-R M. 2444: 491 Annex 24 (WP5A) Rec. ITU-R M. 1307: 571 (Japan) Rep. ITU-R M. 2417: 491 Annex 26 (WP5A); 572 (Japan)
Machine Type Communication (MTC)	Spectrum needs: 491 Annex 27 (WP5A) Rep. ITU-R M. 2479: 491 Annex 25 (WP5A)

【出力文書】

Intelligent transport systems (ITS)	5A/TEMP/221 R1
275 GHz 超	5A/TEMP/201R2, Annex 27 to 5A/491
Machine Type Communications (MTC)	—

【出席者】

議長 吉野仁氏（日本）

【審議概要】

- ・本WGは今会合中に5回開催され、ITS関係10件の寄与文書を審議し、ITS関係1件の出力文書を作成した。

【新ITU-R報告草案M. [CAV]に向けた作業文書】

- ・CAV関連では、米国（519）、韓国（536）、中国（549）、中国（550）、中国（552）、クアルコム（567）、日本（569）、日本（570）、ドイツ（578）、ドイツ（579）から作業文書の加筆や修正等の提案があった。審議の結果、作業文書（5A/TEMP/221 R1）が更新され、次回会合で更に作業を継続することとなった。
- ・日本から入力した寄与文書の一つ（5A/569）は、これまでの累次の会合で寄与文書を入力してきた戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の「自動運転」プロジェクト（SIP-adus）の成果に関するものである。その具体的な内容及び審議結果は以下のとおり。

1) 新報告草案の完成度を高めるための提案

- － 信号情報の機能要素がV2I（b-1-1）とV2N（b-1-2）とで分かれていたのを統合。
- － 無人隊列走行（g-1）についてデータ量を追記。メッセージ受信者の表記を改善。

- ・これらは新報告草案に取り入れられた。

2) 導入の可能性が低い機能要素

- ・日本からは、導入の可能性が低いとしてSIP-adusでドロップした機能要素についても各国レビューのため入力していたところ、昨年11月の前回WP5A会合で米国より、新報告に掲載する必要はないのではないかと指摘があった。今回、これまでの数回の会合でレビューされ、本体に移す必要のあるものは本体に取り込まれるなど、レビューが済んだとして削除を提案し、そう合意された。

3) 中国が提案した“生の知覚データ共有”のユースケース

- ・前回WP5A会合での章構成の変更により、ユースケースを記述する6.3節(新5章)に“6.3.1節(新5.1節) Advanced ITS”と“6.3.2節(新5.2節) CAV”の二つの小節が設けられた。このうち、“生の知覚データ共有”に関するユースケースは前者に置かれたところ、今回、“6.3.2節 CAV”に位置づけることを提案した。
- ・また、前回WP5A会合で中国が提案した“レーダと通信の統合システム”に関するテキストについて、ユースケースとは関係ないとして6.3節からの削除を提案した。中国は削除に反対した。日本と中国との間でオフラインの協議が行われたが、中国がユースケースの節(6.3節)でなければ、無線通信要件の節(6.2節)に置くべきと主張したため、成案を得ることができず、平場での議論に戻された。審議の中で、中国が将来技術の7.4節に置くよう提案し、そうすることとなった。なお、テキストの内容については、日独がさらに精査が必要としたため、スクエア・ブラケット([]、ペンディング事項を表す記号)で囲んだ上で、次回会合で検討を継続することとなった。
- ・日本が提案した25件の機能要素の中には、各国が提案して作成したユースケースの節(新5章)で使われていないものがあるのではないかと、との指摘があった。今後、対応関係を確認することとなり、次回会合の宿題となった。
- ・ドイツ及びQualcommの提案に基づき、機能要素ごとの無線通信要件一覧表(表6.5-1)にETSIやSAEのメッセージタイプが例示され、また、送信間隔、メッセージサイズ、通信遅延等の具体的な値が記載された。
- ・新報告草案は、無線通信技術を記述する章が二つに分かれ、双方に重複した内容が散見されるとともに、機能要素を記載した節(旧6.4節)が30ページ超と大部なものとなっていた。ドイツ提案に基づき、読みやすさを改善するため、重複した章を統合し、また、ページ数の多い章節を簡潔に要約し、詳細をAnnexに移すなど、章構成等の再編に着手した。次回会合でも引き続き作業する予定。
- ・前回会合において、IEEE802.11p/bdと3GPP LTE-V2X/5G-NR V2Xの二つの技術仕様について、それぞれの特徴をどう記述するかについて議論され、遅延の程度、同一周波数での両立性や後方互換性などに関しては意見が対立していた。今回も両者の対立は十分解消されず、次回会合でさらに検討することとなった。
- ・前回会合において、5.9GHz帯でCAV用周波数として最低限70~75MHz幅が必

要である’との記載について、米国（FCC）より、算定の根拠とされる研究はいずれも外部の業界団体によるものであり、その算定結果をそのままITU-Rの結論とすることに強い反対があり、関連箇所10ページ超にわたり、スクエア・ブラケットが付けられた。今回、米国（USDOT）は、“initialな周波数ニーズ”に関する情報を記載したと位置づけることで、FCCの懸念に対応できると提案した。この問題に対して、ドイツは、関係箇所をM. [CAV]から切り出し、別のITU-R報告とすることを提案していた。審議の結果、米提案を採ることとされ、上述のスクエア・ブラケットが外された。この審議の過程で、中国は、かねてより‘地域や国ごとに交通事情等が異なるため、一律70MHz幅の周波数要求に反対’としていた主張を取り下げた。

- ・日本から入力したもう一つの提案（5A/570）、すなわち、トラックの隊列走行のユースケースに関する提案については、おおむね受け入れられ、報告草案に反映された。このユースケースでは、隊列を構成するトラック同士が通信を行うが、日本の場合、通信する情報に車両周囲状況の監視映像が含まれるのに対し、欧州では、映像ではなく、映像から抽出した物体等の情報がやり取りされる。この違いを背景として、ドイツの指摘により、映像伝送が必須要件とされないよう記述が修正された。
- ・また、報告M. [CAV]に関する作業計画（5A/TEMP/243/Attachment 2 to Annex 3）が更新された。これまで本年11月の完成を目指していたが、作業時間を確保するため、完成時期を2023年5月に延ばすこととなった。

【ITU-R勧告M. 2121及びITU-R報告M. 2444の改訂】

- ・2021年11月の会合でITS用周波数帯の調和に関する勧告M. 2121及びITSの周波数アレンジメント例に関する報告M. 2444を改訂することが合意された。今回は、これらに関する寄与文書は入力されなかった。このため、同勧告及び報告に関する作業文書を次回会合に審議を持ち越すこととなった（5A/359/Annex 25, 5A/491/Annex 24）。また、関連の作業計画が更新された（5A/TEMP/243/ Attachment 1 to Annex 3）。

【275 GHz超、研究課題256-1】

- ・ITU-R報告M. 2417-0の改訂案が承認され、SG5に上程された（Doc. 5/80）。

4.5.1 高度道路交通システム（ITS）

【入力文書】

CAV (Question ITU-R 261/5): 491 Annex 23 (WP5A); 519 (USA); 536 (Korea); 549 (China); 550 (China); 552 (China); 567 (Qualcomm); 569 (Japan); 570 (Japan); 578 (Germany); 579 (Germany)

Rec. ITU-R M. 2121: 359 Annex 25 (WP5A)

Rep. ITU-R M. 2444: 491 Annex 24 (WP5A)

Rec. ITU-R M. 1307: 571 (Japan)

【出力文書】

5A/TEMP/221 R1

【審議概要】

- ・ 10 件の寄与文書を検討し、ITU-R 新報告草案 M. [GAV]に向けての作業文書（5A/TEMP/221 R1）を更新した。また、関連の作業計画を見直し、同報告の完成時期を第 29 回 WP5A 会合（2023 年 5 月）に延ばした。
- ・ ITU-R 報告 M. 2444 及び ITU-R 勧告 M. 2121 の改訂については、今回会合では入力がなかったため、これら作業文書（5A/359 Annex 25, 5A/491 Annex 24）を次回 WP5A 会合に持ち越すこととした。関連の作業計画を見直し、更新した。

4.5.2 275 GHz 超、研究課題 256-1

【入力文書】

Rep. ITU-R M. 2417: 491 Annex 26 (WP5A); 572 (Japan)

Spectrum needs: 491 Annex 27 (WP5A)

【出力文書】

5A/TEMP/201 R2, Annex 27 to 5A/491

【審議概要】

- ・ 日本からの寄書によって ITU-R 報告改訂案への格上げ提案が行われたが、フランスから削除された 8 節は WRC-19 議題 1.15 の検討に使用した特性（スペクトラム要求値）であるため残すべきとの意見に対して、カナダ及び米国からは本改訂案のスコープ外であるために削除を維持すべきとの意見であった。そのため、日本から 8 節の特性を用いたリンクバジェット例を示している Annex 5 にそれら特性をはめ込む提案を行い、合意することができ、SG5 に報告 M. 2417-0 の改訂案が上程された (Doc. 5/80)。
- ・ 前会合から作業が開始された ITU-R 新報告 M. [LMS. SPEC. NEED. ABOVE. 275 GHz] について寄書がなかったために、前会合の議長報告添付文書 (Annex 27 to Doc. 5A/491) が持ち越された。

4.5.3 機械型通信 (Machine Type Communication)

【入力文書】

Rep. ITU-R M. 2479: 491 Annex 25 (WP5A)

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・ ITU-R 報告 M. 2479-0 「機械型通信のための陸上移動システムの使用」の改訂に関する寄与文書の入力はなかった。
- ・ ITU-R 新報告草案 M. [LMS. SPEC. NEED. ABOVE. 275GHZ] 「275 GHz 超における陸上移動業務のアプリケーションの周波数需要」に向けた作業文書の作成のための作業計画を更新した。作業文書 (5A/491 Annex 25) は、次回第 28 回 WP5A 会合に持ち越された。

4.5.4 ITU-R 文書の見直し

【入力文書】

—

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・ 文書 5A/491 の Annex 1 の第 1 節における WG5A-5 に関連する ITU-R 文書の見直しを行った。ITU-R 勧告 M.1307 の改訂又は削除について、入力寄与文書（5A/571）に基づき議論された、次回第 28 回会合で同勧告の改訂又は削除の議論を継続することに合意した。古い ITU-R 勧告や報告の削除又は改訂に関し、次回 WP5A 会合に寄与文書を入力することが促された。
- ・ 陸上移動業務に関連する ITU-R 文書の使用に関する指針について、見直しを行った。当該文書の修正は提案されなかった。将来の会合への寄与文書の入力が促された。

4.6 Ad Hoc WG5A/5C (WRC-23 議題 9.1 c))

【入力文書】

WRC-23 AI 9.1.c) Res. 175	418 (UK/CEPT PTA); 472 (Russian Federation); 491 Annex 8 (WP5A); 516 (UK);
Draft CPM text	520 (USA); 582 (UAE)
520 (USA); 582 (UAE)	431 Appendix III (USA); 273 (IAFI); 321 Att. 4 (UK/CEPT PT A); 491 Annex 9 (WP5A)
Work plan	418 (UK/CEPT PTA); 422 (CG Chairman); 431 (USA); 445 (IAFI); 458 (South Africa);
Scope of FWB term	469 (Egypt); 472 (Russian Federation); 478 (Saudi Arabia, UAE)
469 (Egypt); 472 (Russian Federation); 478 (Saudi Arabia, UAE)	418 (UK/CEPT PTA); 445 (IAFI); 458 (South Africa); 472 (Russian Federation)
“IMT Systems” from Res. 175	321 Att. 2 (UK/CEPT PT A); 431 Appendix II, Att. 2 (USA); 521 (USA)
418 (UK/CEPT PTA); 445 (IAFI); 458 (South Africa); 472 (Russian Federation)	431 Appendix II, Att. 1 (USA); 521 (USA)
Rec. ITU-R F.1401-1	221 Annex 18 (WP5A); 271 (USA); 307 (China), 321 Att. 3 (UK/CEPT PTA); 329 (Egypt); 336 (UAE); 521 (USA)
Rec. ITU-R F.1490-1	431 Appendix I (USA); 521 (USA)

【出力文書】

	TEMP/230
--	----------

【出席者】

議長 Christine DI LAPI (米国)

【審議概要】

- ・本トピックの CPM テキスト案に関して、4 件の入力寄与文書を検討した。そのうち 1 件は、第 26 回会合で提出されたものである。今回計 13 回会合を開催し、CPM テキスト案の要素を作成し、WP5A/5C の合同プレナリのセッションで提出され、CPM のチャプター・ラポータに送付することが承認された。
- ・既存の F シリーズ勧告の改訂の提案する 1 件の寄与文書の入力があり、検討する時間がなかったため、前回会合で検討されなかった入力文書とともに、次回第 28 回会合に持ち越された。

5 今後の予定

WP5A の次回会合の各 WG 及び Ad Hoc WG の主な審議事項は以下のとおり。

5.1 WG1 (アマチュア及びアマチュア衛星業務)

- (1) 寄与文書に基づき、WRC-23 議題 9.1 b) を支援する ITU-R 報告案及び勧告案を作成すること。
- (2) ITU-R 勧告 M. 1732 の改訂案を完了すること。
- (3) 他のグループからのリエゾンに返信すること。
- (4) アマチュア及びアマチュア衛星業務に関連する他の作業を扱うこと。

5.2 WG2 (システムと標準)

- (1) ITU-R 新勧告草案 M. [RSTT_FRQ] に向けた作業文書を作成すること。
- (2) ITU-R 報告 M. 2442-0 の改訂草案に向けた作業文書を作成すること。
- (3) ITU-R 報告 M. 2282-0 の改訂草案に向けた作業文書を作成すること。
- (4) ITU-R 新報告草案 M. [UTILITIES] に向けた作業文書を作成すること。
- (5) ITU-R 勧告 M. 1450-5 の改訂草案に向けた作業文書を作成すること。
- (6) ITU-R 勧告 M. 1801-2 の改訂草案に向けた作業文書を作成すること。
- (7) ITU-R 新報告草案 M. [BB-WAS. FREQ] に向けた作業文書を作成すること。
- (8) ITU-R 勧告 M. 2134 改訂の作業文書に関する作業を作成すること。
- (9) ITU-R 新報告草案 M. [AUDIO-PMSE_LMS] に向けた作業文書を作成すること。
- (10) 寄与文書に基づき、無線アクセスシステム (WAS) 研究課題の作業を継続すること。

5.3 WG3 (PPDR)

- (1) ITU-R 報告 M. 2377-1 「PPDR の無線通信の目的及び要件」の改訂の検討を継続すること。
- (2) ITU-R 決議第 55-3 「PPDR の ITU-R の検討」の改訂を検討すること。
- (3) 入力寄与文書に基づき陸上移動業務の下での緊急通信に関するハンドブック (手引) の範囲及び構成を作成すること。

5.4 WG4 (干渉と共用)

- (1) ITU-R 報告 M. 2116 の改訂に関する作業を継続すること。
- (2) ITU-R 新報告草案 M. [252-296 GHZ. LMS. FS. COEXIST] に関する作業を継続し、完了し SG5 に提出できるかどうかを検討すること。
- (3) WRC-23 議題 1.3 に関連した共用及び両立性検討に関する作業文書の作成を継続すること。
- (4) ITU-R 新報告草案 M. [LMS. CONDITIONS>275GHz] に向けた作業文書に関する作業を継続すること。

5.5 WG5（新技術）

- (1) ITU-R 勧告 M. 2121「移動業務における ITS の周波数帯の調和」の改訂草案に向けた作業文書の作成を継続すること。
- (2) ITU-R 報告 M. 2444「移動業務の下での ITS の展開のための配置の例」の改訂草案に向けた作業文書の作成を継続すること。
- (3) ITU-R 新報告草案 M. [CAV]「コネクテッド自動運転車」に向けた作業文書の作成を継続すること。
- (4) ITU-R 新報告草案 M. [LMS. SPEC. NEED. ABOVE. 275 GHz]「275 GHz 超の周波数における陸上移動業務のアプリケーションのための周波数需要」に向けた作業文書の作成を継続すること。
- (5) ITU-R 報告 M. 2479-0 の改訂草案「陸上移動システムの使用」に向けた作業文書の作成を継続すること
- (6) ITU-R 勧告 M. 1307「陸上移動業務における自動測位及び指針」の削除又は改訂の議論を継続すること。

5.6 Ad Hoc WG5A/5C（WRC-23 議題 9.1 c）

- (1) 第 28 回会合で受領した入力文書及び前回会合から持ち越された文書を検討すること。
- (2) 既存の F シリーズ勧告の見直しを継続すること。また、必要に応じて、決議第 175（WRC-19）の resolves を検討すること。
- (3) 既存の ITU-R SG5 研究課題を見直すこと。

6 次回会合のスケジュール

次回（第 28 回）WP5A 会合は、2022 年 11 月 14 日（月）～25 日（金）、スイス（ジュネーブ）で開催される予定。

表 2 日本入力文書の審議結果

担当WG	文書番号	概要	審議結果	出力文書
WG2	[568]	Proposed update of the working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-5 - Characteristics of broadband radio local area networks	作業文書に反映され、次回会合で継続検討されることとなった。	5A/TEMP/236
WG4	[573]	Proposal to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M. [252-296 GHZ. LMS. FS. COEXIST] - Coexistence between land-mobile and fixed service applications operating in the frequency range 252-296 GHz	次回会合へ持ち越され、議長報告に添付することとした。	5A/TEMP/200 Rev. 1
WG5	[572]	Proposal to preliminary draft revision of Report ITU-R M.2417-0 - Technical and operational characteristics of land-mobile service applications in the frequency range 275-450 GHz	報告改訂案への格上に合意し、SG5に上程することとした。	5A/TEMP/201 Rev. 2
WG5	[571]	Proposed modification to Appendix 3 of Recommendation ITU-R M.1307 - Automatic determination of location and guidance in the land mobile services	次回会合に持ち越されることとなった。	—
WG5	[570]	Proposed modification to Section 6.3.2 use cases 2-2) Platooning of working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M. [CAV] Connected Automated Vehicles (CAV)	作業文書に反映され、次回会合で継続検討されることとなった。	5A/TEMP/221 Rev. 1
WG5	[569]	Proposed modification to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M. [CAV] - Connected Automated Vehicles (CAV)	作業文書に反映され、次回会合で継続検討されることとなった。	5A/TEMP/221 Rev. 1

表 3 WP5A 出力文書

文書番号 (5A/TEMP/)	題目	担当 WG	処理
[244]	REPORT OF THE WG5A-4 ACTIVITIES	WG5A-4	議長報告 Annex 3 に 添付
[243]	MEETING REPORT OF WORKING GROUP 5A-5	WG5A-5	議長報告に 添付
[242] (Rev. 1)	PRELIMINARY DRAFT CPM TEXT FOR WRC-23 AGENDA ITEM 1.3	WG5A-4	議長報告に 添付
[241] (Rev. 1)	REPORT OF ACTIVITIES IN SUPPORT OF WRC-23 AGENDA ITEM 1.3	WG5A-4	議長報告に 添付
[240]	REPORT ON ACTIVITIES OF WORKING GROUP 5A-2 SYSTEMS AND STANDARDS	WG5A-2	議長報告に 添付
[239]	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M. [UTILITIES]	WG5A-2	議長報告に 添付
[238]	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M. 1801-2	WG5A-2	議長報告に 添付
[237]	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M. [BB-WAS. FREQ]	WG5A-2	議長報告に 添付
[236]	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M. 1450-5	WG5A-2	議長報告に 添付
[235]	WORK PLAN FOR WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M. [AUDIO-PMSE_LMS]	WG5A-2	議長報告に 添付
[234] (Rev. 1)	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M. [AUDIO-PMSE_LMS]	WG5A-2	議長報告に 添付
[233] (Rev. 1)	DRAFT REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 5D	WG5A-2	WP5D に送付
[232]	REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTIES 7C, 5B, 5C, 6A AND 7B	WG5A-1	WP7C、5B、 5C、6A 及び 7B に送付
[231]	REPORT FROM WORKING GROUP 5A-1	WG5A-1	議長報告に 添付
[230]	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT CPM TEXT FOR WRC-23 AGENDA ITEM 9.1, TOPIC C)	WP5A/WP5C	議長報告 Annex 8 に 添付
[229] (Rev. 1)	DRAFT REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4A	WG5A-4	WP4A に送付

[228] (Rev. 1)	DRAFT REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4A	WG5A-4	WP4A に送付
[227] (Rev. 1)	DRAFT REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4A	WG5A-4	WP4A に送付
[226] (Rev. 1)	DRAFT REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4A	WG5A-4	WP4A に送付
[225]	WORKING PARTY 5A MANAGEMENT	Chairman, WP5A	議長報告 Annex 1 に 添付
[224]	LIST OF ANNEXES FOR THE CHAIRMAN' S REPORT OF THE TWENTY-SEVENTH MEETING OF WORKING PARTY 5A	WP5A	議長報告 Annex 26 に 添付
[223]	WORKING DOCUMENT TOWARDS A DRAFT REPORT FOR SHARING AND COMPATIBILITY STUDIES IN COMPLIANCE WITH RESOLUTION 246 (WRC 19) IN RELATION WITH WRC-23 AGENDA ITEM 1.3	WG5A-4	議長報告に 添付
[222]	REPORT OF ACTIVITIES IN SUPPORT OF WRC-23 AGENDA ITEM 9.1, TOPIC C)	WP5A	議長報告に 添付
[221] (Rev. 1)	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M. [CAV]	WG5A-5	議長報告 Annex 25 に 添付
[220] (Rev. 1)	[PRELIMINARY] DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M. 1732-2	WG5A-1	議長報告に 添付
[219] (Rev. 1)	[DRAFT] REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4C	WG5A-1	WP4C に送付
[218] (Rev. 1)	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M. [AMATEUR CHARACTERISTICS]	WG5A-1	議長報告 Annex 10 に 添付
[217] (Rev. 1)	REPORT OF ACTIVITIES IN SUPPORT OF WRC-23 AGENDA ITEM 9.1, TOPIC B)	WG5A-1	議長報告に 添付
[216] (Rev. 1)	DRAFT REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 7C	WG5A-4	WP7C に送付
[215]	DRAFT LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 7C	WG5A-4	WP7C に送付
[214]	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R M. [AS GUIDANCE]	WG5A-1	議長報告に 添付
[213]	WORKING GROUP 5A-3 MEETING REPORT	WG5A-3	議長報告に 添付
[212] (Rev. 1)	REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 7C	WG5A-4	WP7C に送付
[211] (Rev. 1)	DRAFT REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 7B	WG5A-4	WP7B に送付

[210] (Rev. 1)	LIAISON STATEMENT TO ASIA PACIFIC TELECOMMUNITY (APT)	WG5A-2	APT に送付
[209] (Rev. 1)	DRAFT LIAISON STATEMENT TO APT, ASMG, ATU, CEPT, CITEL AND RCC	WG5A-2	APT 等に送付
[208] (Rev. 1)	WORK PLAN FOR COMPLETION OF THE WORK ON RSTT UNDER RESOLUTION 240 (WRC-19)	WG5A-2	議長報告に添付
[207] (Rev. 1)	WORK PLAN FOR WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M. [UTILITIES] ON UTILITY RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS	WG5A-2	議長報告に添付
[206] (Rev. 1)	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R M. [RSTT_FRQ]	WG5A-2	議長報告に添付
[205]	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R M. 2442-0	WG5A-2	議長報告に添付
[204] (Rev. 1)	DRAFT REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 5C	WG5A-2	WP5C に送付
[203]		WG5A-4	議長報告に添付せず
[202] (Rev. 1)	TEXT FROM WORKING GROUP 5A-4 FOR THE DRAFT REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 7C ON WRC-23 AGENDA ITEM 1.12 BEING PREPARED BY WORKING GROUP 5A-1	WG5A-4	議長報告に添付
[201] (Rev. 2)	[PRELIMINARY] DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R M. 2417-0	WG5A-5	WP5A プレナリで承認。SG5 に上程
[200] (Rev. 1)	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M. [252-296 GHZ. LMS. FS. COEXIST]	WG5A-4	議長報告に添付
[199]	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M. [LMS. CONDITIONS>275GHz]	WG5A-4	議長報告に添付
[198] (Rev. 1)	[PRELIMINARY] DRAFT CPM TEXT FOR WRC-23 AGENDA ITEM 9.1, TOPIC B)	WG5A-1	議長報告に添付
[197]	WORKING DOCUMENT TOWARD A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R M. 2377-1	WG5A-3	議長報告に添付
[196]	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RESOLUTION ITU-R 55-3	WG5A-3	議長報告に添付

ITU-R SG5 WP5A 第 27 回会合 日本代表団

(順不同；敬称略)

	氏 名	所 属
団長	丸橋 弘人	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
	石田 泳志	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
	内田 寛武	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
	星 祐翔	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
	小川 博世	(国研) 情報通信研究機構
	横山 隆裕	(一社) 電波産業会
	山本 勝美	(一社) 日本アマチュア無線連盟
	中村 一城	(公財) 鉄道総合技術研究所
	岩谷 純一	日本電信電話 (株)
	大槻 信也	日本電信電話 (株)
	坂田 研太郎	ソフトバンク (株)
	吉野 仁	ソフトバンク (株)
	川本 真紀夫	三菱電機 (株)
	山崎 高日子	三菱電機 (株)
	三留 隆宏	スカパーJSAT (株)
	片山 麻衣子	ワシントンコア L. L. C.
	地引 史子	ワシントンコア L. L. C.